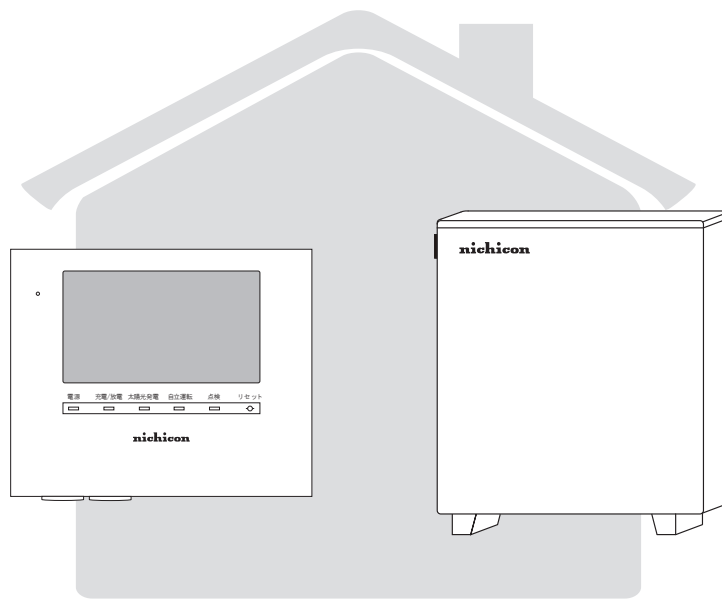


取扱説明書

蓄電システム
ESS-U4X1 / ESS-U4M1
室内リモコン
ESS-R5



このたびは、ニチコン蓄電システム ESS-U4X1/ESS-U4M1をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。



この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

また、保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できる場所に必ず保管してください。

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。









 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	* 必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		* 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	* 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		* 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	* 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

警告

本体・自動切替分電盤(開閉器盤)

	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。		コンセントには、金属、紙、水などを差し込んだり、中に入れたりしない 火災・感電・故障のおそれがあります。
	分解・改造しない、自動切替分電盤(開閉器盤)のカバーは開けない 感電や傷害を負うおそれがあります。		コンセントには、灯油やガスを用いた暖房機器、電熱機器など、火災を引き起こす可能性のあるものは接続しない 災害時に火災の原因になることがあります。
	子供を近づけない 感電・やけど・火災のおそれがあります。		非常時兼用コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 夜間や曇りなどで外付け太陽光発電電力または蓄電池の電力が不足すると蓄電システムは停止し、家電製品の電源が切れます。パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。また、不安定な電源などで生命にかかわる機器(医療機器など)には絶対に使用しないでください。
	災害などにより本蓄電システムが浸水、水没、変形、破損、転倒などした場合、本蓄電システムに近づかない 感電、有害ガスの発生、発熱、発煙、発火、蓄電池からの電解液が漏れるなどの危険がありますので、「蓄電システムを停止させる場合」に従って蓄電システムを停止させ、すみやかにお買い上げの販売会社にご連絡ください。		停電/復電時に自動切替分電盤(開閉器盤)から切り替え音がするので注意する 比較的大きな音がするので心臓の弱い方は注意してください。

 **警告**



蹴ったりして強い衝撃を与えない
変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない
火災・感電・故障の原因となります。



フロントパネルやメンテナンスパネル（12 ページ）を開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



お子様に操作させない
感電、やけど、火災のおそれがあります。



蓄電ユニットの上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を置かない
機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。



蓄電ユニットの近くに可燃性ガスや引火物を置かない（60 cm 以内）
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかず、室内リモコンの設定情報画面上の「運転停止」にタッチし、自動切替分電盤（開閉器盤）の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする
そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに販売会社にご連絡ください。



蓄電池に高圧、大容量の電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する
自動切替分電盤（開閉器盤）の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。十分注意してください。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用している方は、充電中、給電中の本製品に近づかない
機器本体からの電磁波が、ペースメーカーおよび ICD の動作に一時的な影響を与える場合があります。

⚠ 注意



停電時には、使用できない家電製品がある
ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。



アース工事を行う (D種接地工事)
アースが不完全な場合、感電のおそれがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事については必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
製品の変色原因となります。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。受信している電波の弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



吸排気口 (12 ページ) を塞いだり吸排気口付近に荷物を置いたりしない
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



ご利用中に室内リモコンの電源スイッチを OFF にしない
蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換 (有償) となる可能性があります。



室内リモコンをぬれた手でさわる、ぬれた布でふくなどしない
感電の原因となることがあります。



近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



取扱説明書を熟読する
ご使用される前には取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。



蓄電システムと接続しているコンセントには、片相で 1.5 kVA / 両相合計で 3.0 kVA 以上の機器を接続しない
機器の故障原因となることがあります。



本システムや太陽電池の配線などから発生する電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。



点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない
蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換 (有償) となる可能性があります。



ソフトウェアの更新が室内リモコンの画面に表示されたら、必ずすぐに更新する
ソフトウェアの更新にはインターネットへの接続が必要です。



落雪などで吸排気口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



積雪等で吸排気口が塞がらないようにする
温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



廃棄処理・リサイクルについて
使用后、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

もくじ

電気の「家産家消」、もしもの「災害対策」.....	8
取り扱い上のお願い.....	11
外形寸法図 / 各部の名称.....	12
室内リモコン各部の名称とはたらき.....	13
室内リモコンの本体について.....	13
室内リモコンの表示について.....	14
通常時の使い方.....	19
各運転モードについて（連系時）.....	19
自動運転モード ～押し上げ設定「無」の場合～.....	19
自動運転モード ～押し上げ設定「有」の場合～.....	19
手動運転モード.....	20
運転モードを選ぶ.....	21
充放電時刻を設定する.....	23
非常時（停電時）の各設定について.....	25
非常時運転モード.....	25
非常時安心設定.....	25
非常時（停電時）の各設定を選ぶ.....	26
各グラフについて.....	27
グラフの表示方法.....	28
グラフを表示する.....	28
グラフ期間を変更する.....	29
グラフの年、月、日を設定して変更する（日間表示の場合）.....	30
各種設定項目について.....	31
各種設定項目を選ぶ.....	33
点検コードの履歴を確認する.....	34
登録情報を確認・変更する.....	35
太陽光発電設定を確認する.....	37

停電時の使い方（自立運転）	38
停電時の太陽光パワコンの使用について	39
停電時運転中に給電を停止する.....	41
停電時運転中に給電を開始する.....	41
停電時の家電製品の利用について	42
復電時の操作	43
ネットワークの設定	44
ネットワークの設定をする	44
ネットワークを使用する場合（有線）.....	44
ネットワークを使用する場合（無線）.....	45
ネットワークを使用しない場合.....	46
ネットワーク接続の通信状態を確認する	47
日時の設定	48
こんなときは	49
ブザー音や異音について	49
ブザー（ピピ音）が鳴ったとき.....	49
機器から発生する音について.....	49
動作がおかしいと感じたとき	49
ブレーカが頻繁に落ちる場合.....	49
契約電力を変更する場合	49
蓄電システムと接続している家電製品のブレーカが頻繁に落ちる場合	49
蓄電システムと接続している家電製品が使用できない場合	49
室内リモコンの画面が表示されない場合	49
100%まで充電できない場合.....	50
停電時に給電できない場合	50
停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合.....	50
停電時運転中に「放電」⇔「充電」動作を繰り返す場合	50
停電時運転中に【太陽光パワコンからの発電量過多】を繰り返す場合	50
その他ご使用に関する操作方法	51
停電時、安全を確認してから蓄電システムと接続している家電製品をご利用になりたい場合... 51	
長期不在の場合（2週間以上）.....	52
蓄電システムを停止させる場合.....	53
蓄電システムを起動させる場合.....	54
蓄電システムを廃棄する場合	55

風水害または地震などの対応	55
点検コード (BExxx、BFxxx) が表示されたとき	56
点検コードの内容と処置	56
点検コード「BF405」について	57
点検コード「BF404」について	57
点検コード (BCxxx) が表示されたとき	58
お知らせリモコンメッセージと内容	58
室内リモコンが動かなくなった時	59
蓄電池のメンテナンスモードについて	60
ソフトウェアの更新	62
ソフトウェアの更新方法	62
更新中に停電した場合	63
保証とアフターサービス	64
保証について	64
アフターサービスについて	64
補助金に関するご注意	64
購入時に補助金の交付を受けた方	64
停電時の接続事例	65
仕様	68
蓄電システム	68
自動切替分電盤 (開閉器盤)	69
ソフトウェアライセンスについて	70

電気の「家産家消」、もしもの「災害対策」

本製品は、住宅の屋根などに設置した太陽電池と蓄電池を併用し、専用の自動切替分電盤（開閉器盤）と組み合わせることにより、暮らしに必要な電気を供給する「蓄電システム」です。

また、設置時に専用の自動切替分電盤（開閉器盤）との配線方法により、停電時に使用できるコンセントが変わります。

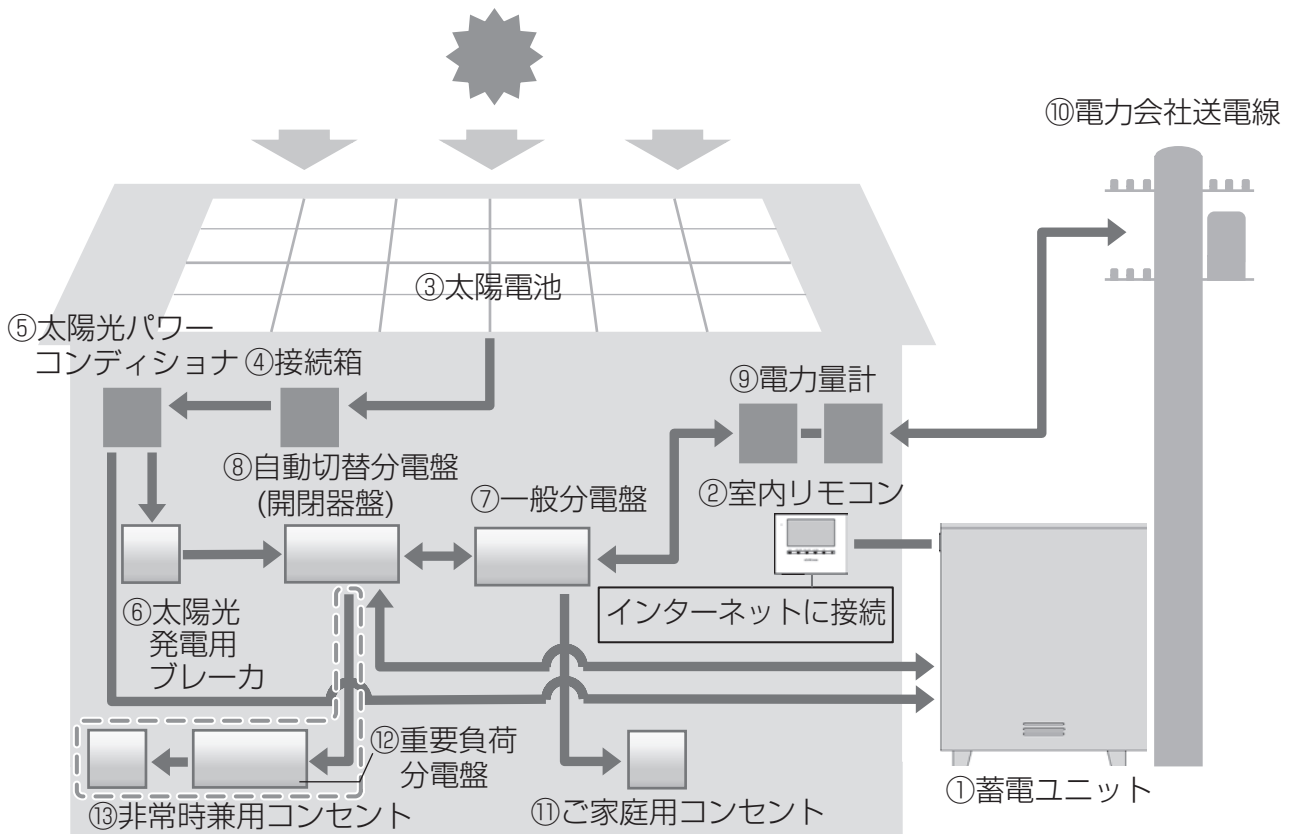
全負荷対応型：停電時に家じゅう全てのコンセントを使えるようにします。（ご家庭用コンセントを使用します。）


重要負荷対応型：停電時に特定のコンセントを使えるようにします。（非常時兼用コンセントを使用します。）

※ 家産家消は、家で作った電気を家で使うことを指す当社の造語です。

※ 蓄電システムは、蓄電ユニットおよび室内リモコンの総称です。

※ 以降、全負荷対応型では『ご家庭用コンセント』、重要負荷対応型では『非常時兼用コンセント』のことを、本書内では、『蓄電システムと接続する家電製品』または『蓄電システムと接続するコンセント』と表現します。



：重要負荷対応型で設置する時のみ使用

- ① **蓄電ユニット**
リチウムイオン蓄電池、蓄電パワーコンディショナで構成され、外付け太陽光発電または系統の電力を蓄えます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。
- ② **室内リモコン**
表示画面を備えた操作パネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。
- ③ **太陽電池**
太陽光を受けて発電します。
- ④ **接続箱**
太陽電池からのケーブルを太陽光パワーコンディショナに接続します。
- ⑤ **太陽光パワーコンディショナ**
太陽電池が発電した電力（直流）を、ご家庭で使える電力（交流）に変換します。また、外付け太陽光発電システム全体の運転を制御します。以降、本書では『太陽光パワコン』と表現します。
- ⑥ **太陽光発電ブレーカ**
- ⑦ **一般分電盤**
契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ、分岐ブレーカを内蔵しています。
- ⑧ **自動切替分電盤（開閉器盤）**
系統からの電源と蓄電池からの給電を自動で切り替えます。蓄電システム用ブレーカ、連系運転用ブレーカ、自動切替スイッチ、自立運転用ブレーカを内蔵しています。配線方法により全負荷対応型または重要負荷対応型に対応します。
- ⑨ **電力量計**
買電用と売電用の2種類があり、電力会社から買った電力（買電）と、電力会社に売った余剰電力（売電）を計量します。
- ⑩ **電力会社送電線**
不足電力を電力会社から購入し（買電）、外付け太陽光発電による余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。
※充電：外付け太陽光発電の電力または系統の電源から蓄電池に電気を蓄えること。
※放電：蓄電池に蓄えている電気を、蓄電システムに接続された家庭内負荷に供給すること。
※給電：太陽電池の電力または蓄電池に蓄えている電気を、蓄電システムから供給すること。
- ⑪ **ご家庭用コンセント**
 - ・ **全負荷対応型で設置した場合**
通常時と停電時も利用可能な電源コンセントです。
 - ・ **重要負荷対応型で設置した場合**
通常時のみ利用可能な電源コンセントです。停電時は利用できません。
- ⑫ **重要負荷分電盤**
 - ・ **全負荷対応型で設置した場合**
使用しません。
 - ・ **重要負荷対応型で設置した場合**
主幹ブレーカ、分岐ブレーカを内蔵しています。
- ⑬ **非常時兼用コンセント**
 - ・ **全負荷対応型で設置した場合**
使用しません。
 - ・ **重要負荷対応型で設置した場合**
通常時と停電時も利用可能な電源コンセントです。

もしもの停電時も「安心」！

もしもの停電時に備えて、大容量の蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。突然の停電でも、蓄電システムと接続している家電製品は、停電中もそのままご使用できます。

- 昼間の晴天時は、外付け太陽光発電と蓄電池を併用して電気を供給します。
- 雨や曇りの日、夜間の停電でも、電気を蓄えていた蓄電池から放電します。
- 3.0 kW で電力供給が可能です。

いつもの生活では「節約」！

昼間に外付け太陽光発電で発電した電力を夜間に活用することで、エネルギーの家産家消に貢献。割安な深夜電力時間帯に充電、昼間の電力使用量ピーク時間帯に放電すれば、電気料金の節約になります。日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

また、この製品は次のような特長により便利に活用できます。

■ 家まるごとバックアップする「全負荷」および「200 V」対応

設置時に専用の自動切替分電盤（開閉器盤）を「全負荷対応型」で配線する事で、停電時に家じゅうの電源をバックアップします。万が一停電しても、いつもと同様にどの部屋でも電気を使うことができ安心です。200 V のエアコンや IH 調理器も使うことが可能です。

※「重要負荷対応型」で配線した場合、200 V のエアコンや IH 調理器は使うことが可能ですが、停電時にバックアップする電源は「非常時兼用コンセント」のみとなります。

■ 大容量のリチウムイオン蓄電池搭載

大容量 16.6 kWh (ESS-U4X1) / 11.1 kWh (ESS-U4M1) * のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

※ 電池長寿命化のために、実際の充放電容量は、蓄電池容量の 9 割程度で運転しています。また、低温時は容量が一時的に減少する場合があります。

■ 室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で太陽光の発電電力、充電電力と放電電力が一目でわかります。タッチパネルを採用しており、画面を見ながらボタンをタッチするだけで、かんたんに操作できます。非常時は、画面のメッセージで操作をご案内するため、困ったときも安心です。

■ 見守りサービス

お客様が長期にわたって安心してご利用いただけるように、インターネット経由で運転状態を無償でモニターします。詳しくは、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

※ 本製品は必ずインターネットに接続してください。(44 ページ)

※ インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

※ インターネットに接続すると、ニチコン見守りサービスのサーバーに自動的に接続します。

■ 気象警報自動制御

お住いの地域に気象警報が発表されたら、自動で蓄電システムを満充電にして停電に備えることができます。また、早期注意情報が発表された場合には、夜間に安い深夜料金の電気を蓄えておくことで、事前に停電に備えることができます。

※ 早期注意情報（警報級の可能性）：警報級の現象が 5 日先までの間に発生すると予想されるときに気象庁が発表します。対象の早期注意情報は、早期注意情報 [高]（早期注意情報 [中] は除く）となります。

※ 事前に見守りサービスと本サービスに加入いただいた方が対象です。

※ インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

※ 詳細および加入方法については、販売店にご確認いただくもしくは弊社パンフレットをご確認ください。

■ AI 自動制御

過去の電力使用状況や天気、外付け太陽光発電量などさまざまなデータを AI が学習し、翌日の余剰電力量を予測して自動で卒 FIT ユーザー向けに自家消費に最適な運転設定を行います。毎日各家庭における最適な蓄電量に調整するため、常に効率良く蓄電システムを活用できます。

※ 事前に見守りサービスと本サービスに加入いただいた方が対象です。

※ インターネットへの接続はお客様のネットワーク環境を利用します。インターネット回線契約・利用に伴う費用はお客様のご負担となります。

※ 詳細および加入方法については、販売店にご確認いただくもしくは弊社パンフレットをご確認ください。

次ページへ続く

■ 安心の 10 年保証

長寿命のリチウムイオン蓄電池だから、長くご使用いただけます。

10 年間の保証付き*で、万が一のときも安心です。詳しくは、保証書の内容をよくお読みください。

※ 室内リモコンは 5 年保証となります。

| 取り扱い上のおお願い

共通

■ 次のような場所には取り付けない

蓄電ユニット

- 標高 1500 m より高いところ
- 岩礁隣接地域
- 重塩害地域
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
(建物の 2 階以上など)
- 油蒸気のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 風通しが悪いところ、屋内
(物置、倉庫、シャッター付きの車庫を含む)
- 販売会社で決められていないところ
- 結露および氷結のあるところ

※ 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止します
温度：- 10℃～+ 40℃

室内リモコン

- 屋外
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 次の温度範囲以外のところ
温度：0℃～+ 40℃

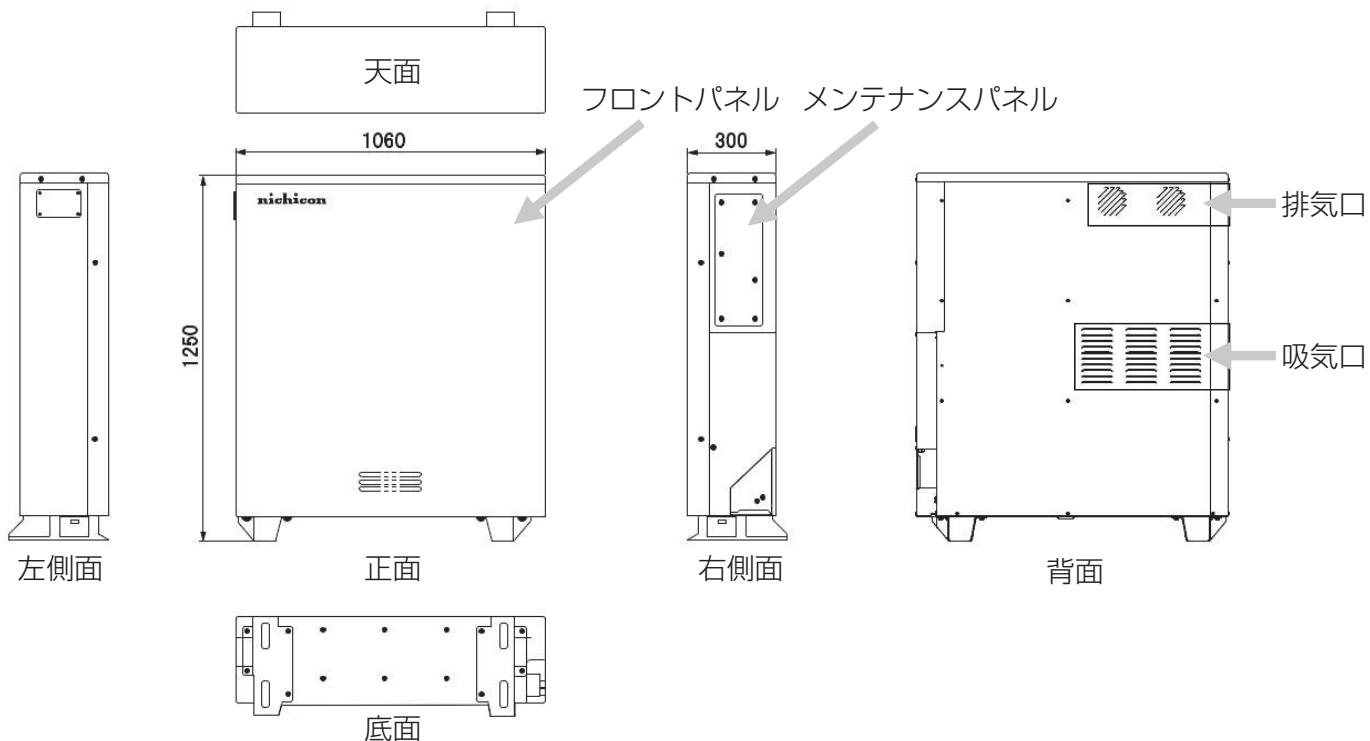


外形寸法図 / 各部の名称

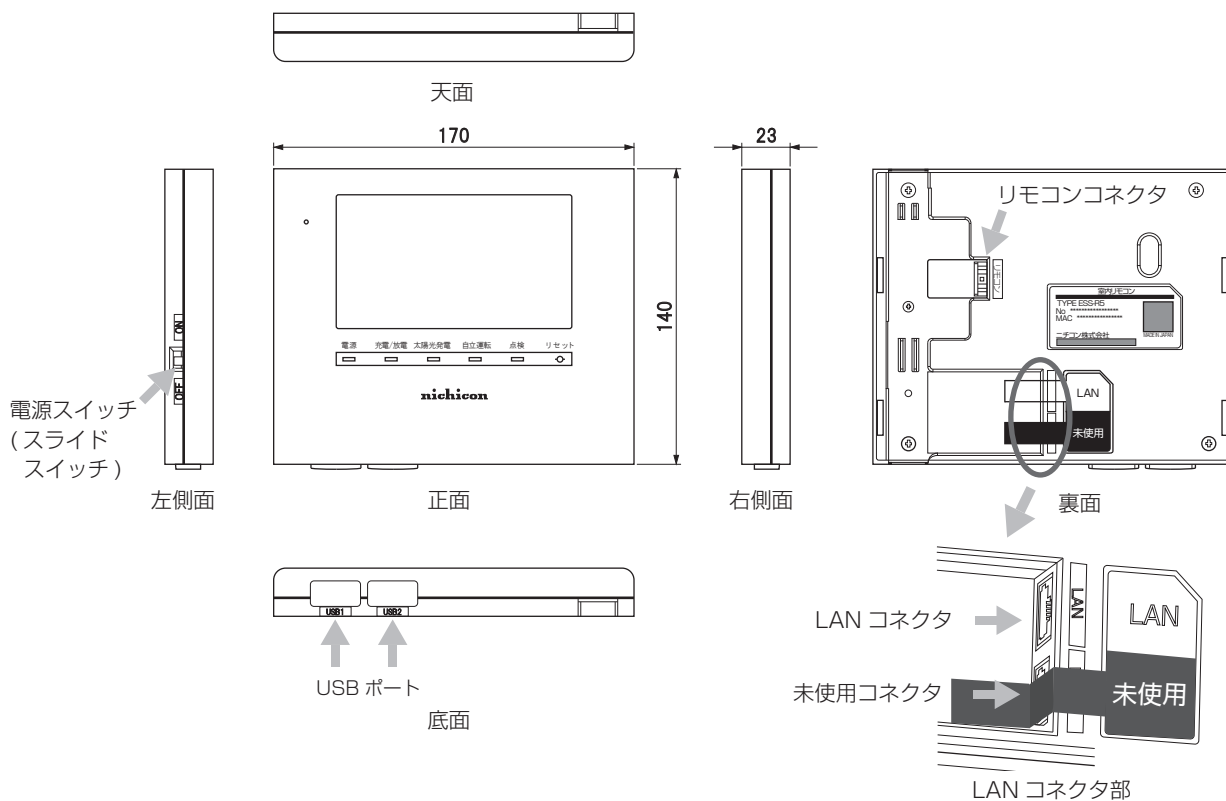
蓄電ユニット

感電の原因になりますので、フロントパネルやメンテナンスパネルは開けないでください。

吸排気口が塞がると温度上昇により、蓄電システムが自動停止する可能性がありますので、吸排気口を塞がないようにご注意ください。



室内リモコン

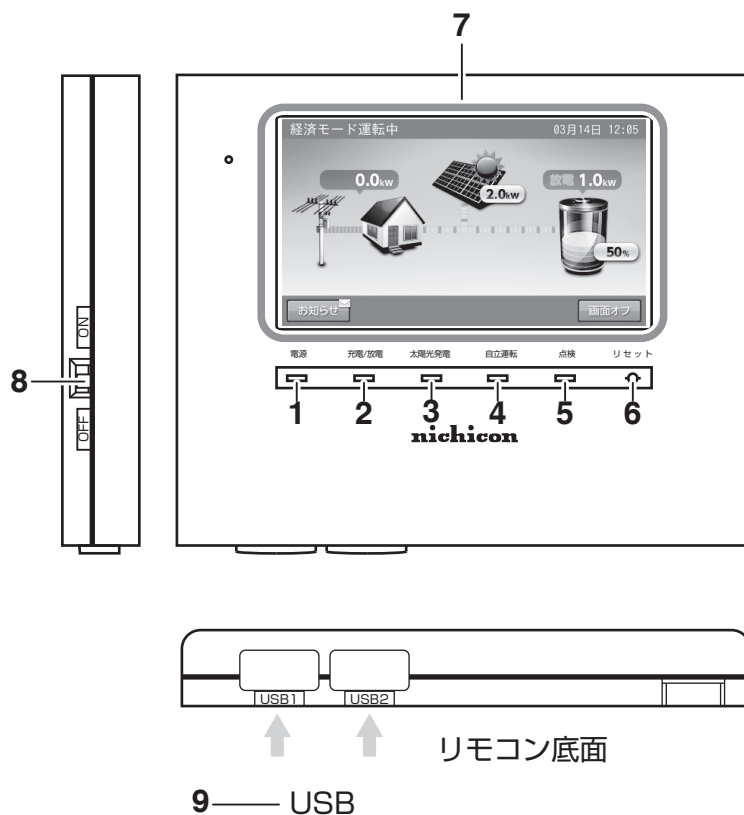


※未使用コネクタ部分は、本システムでは使用しません。何も接続しないでください。

室内リモコン各部の名称とはたらき

室内リモコンの本体について

本製品は、室内リモコンの画面にタッチしてさまざまな操作を行います。



- 1. 電源ランプ**
室内リモコン ON 時に点灯します。
- 2. 充電 / 放電ランプ**
運転状態を表示します。
緑：充電 / 放電
消灯：待機 / 停止
- 3. 太陽光発電ランプ**
外付け太陽光発電中に点灯します。
- 4. 自立運転ランプ**
自立運転中に点灯します。
- 5. 点検ランプ**
点検コード発生中に点滅します。(56 ページ)
- 6. リセットボタン**
室内リモコンのマイコンをリセットします。
- 7. 画面**
表示画面を兼ねたタッチパネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードを設定します。
- 8. 電源スイッチ (スライドスイッチ)**
室内リモコンの電源を ON/OFF します。
室内リモコンの電源を「OFF」すると、蓄電システムは運転を停止します。通常は「ON」のままご使用ください。
- 9. USB**
通常使いません。
無線 LAN 利用時には、無線 LAN 子機を接続します。

メモ

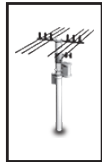
- 点検ランプが点滅しているときは、室内リモコンの画面に点検コードが表示されます。「点検コード (BExxx、BFxxx) が表示されたとき」(56 ページ) に従って処置してください。
- 蓄電システム運転中に、電源スイッチを「OFF」にしないでください。蓄電システムを停止したい場合は、「蓄電システムを停止させる場合」(53 ページ) の操作を行ってください。

室内リモコンの表示について

■例：ホーム画面～その1～

電柱アイコン

系統（電力会社）を意味します。



系統状態

買電、売電の状態を表示します。

売買電電力※3

売買電電力を表示します。
※100 W未満の場合は、0.0 kWと表示します。

家アイコン

ご家庭内を意味します。
タッチすると、各種設定 / グラフに関する設定画面が開きます。(28、33、35、44、45、46、47、51、53、54 ページ)



運転モード

『経済モード運転中』など、現在動作している運転モードを表示します。

経済モード運転中

売電 1.0kW

3.0kW

お知らせ

お知らせボタン

ボタンをタッチすると、お知らせリストが開きます。(34 ページ)

表示あり 
未読がある場合の表示です。



表示なし 
未読がない場合の表示です。



太陽光パネルアイコン

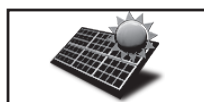
タッチすると、太陽光に関する設定画面が開きます。(37 ページ)

外付け太陽光発電設定が「なし」で登録されている場合は、このアイコンは表示されません。(35 ページ)

太陽アイコン

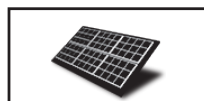
太陽表示あり

外付け太陽光発電電力が
100 W程度より大きい場合に
表示します。



太陽表示なし

外付け太陽光発電電力が
小さい、または発電して
いない場合は、表示しません。



発電電力※3

外付け太陽光発電電力を表示します。

01月01日 12:00

充電 2.0kW



50%

画面オフ

画面オフボタン

ボタンをタッチすると、画面がオフします。
画面オフ時は、液晶画面のどこかをタッチ
することで、画面表示が戻ります。

画面オフ

蓄電池アイコン

放電時：緑、充電時：橙

待機中および停止中または充放電電力が
100 Wより低い場合は、直前の色を表示します。
タッチすると、蓄電池に関する設定画面が開きます。
(21 ページ)



蓄電池状態

放電：100 Wより大きい電力を放電している場合

充電：100 Wより大きい電力を充電している場合

待機：充放電を行っていない場合

充放電力が100 W未満の場合

表示なし：停止中

蓄電池充放電電力※3

蓄電池の充放電電力を表示します。

※100 W未満の場合は、0.0 kWと表示します。

蓄電池残量単位【%】

蓄電池の残量を表示します。

一度使い切った電池がしばらくすると
使える場合があるように、蓄電池特性により、
しばらくすると、表示が変わることがあります。
また、非常時安心設定の表示も同様に表示が変わる
場合があります。

蓄電池残量は、目安としてご利用ください。

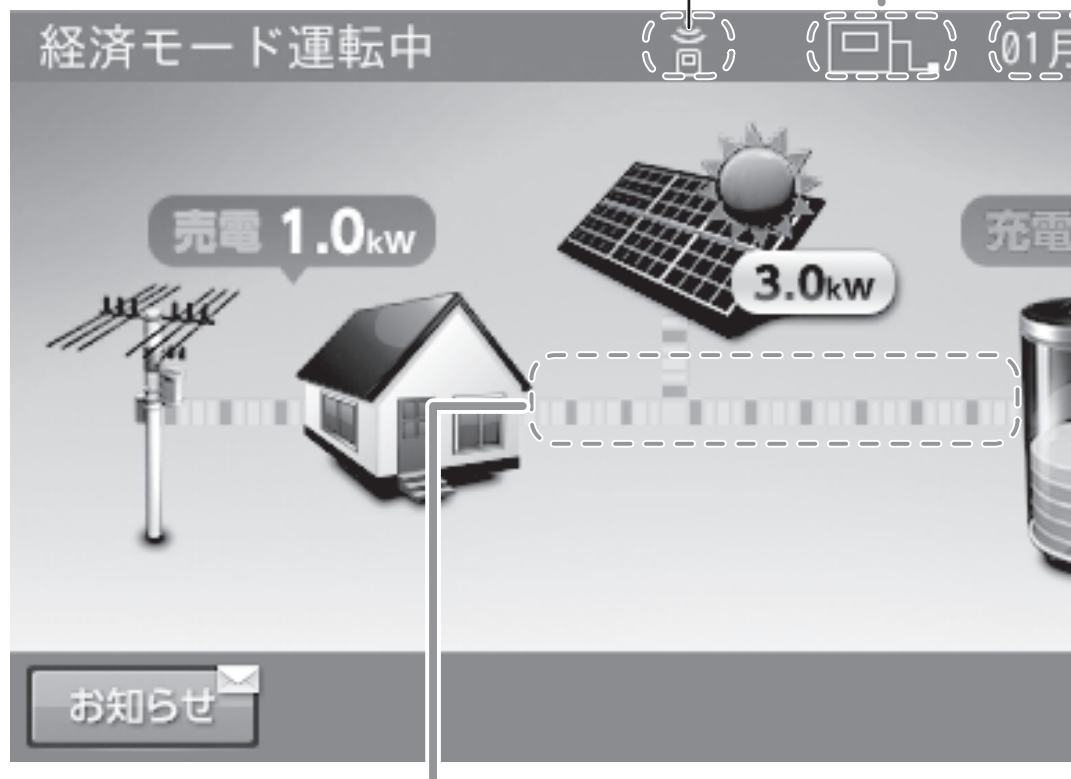
■例：ホーム画面～その2～

リモートアイコン

ECHONET Lite※1通信中です。
HEMS※2など外部からの指示により運転しています。



非表示：ECHONET Lite※1通信状態ではありません。



電力の流れ

各機器間の電力の流れのイメージを破線で表示します。

- ・破線非表示：100 W未満
- ・動きの遅い破線：100 W以上
- ・動きの速い破線：1 kW以上

※電力が小さい（100 W未満）場合でも、センサーの誤差などにより、電力の流れが表示される場合があります。

※1：「ECHONET Lite」「エコネットライト」は、エコネットコンソーシアムの登録商標です。

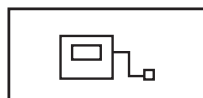
※2：「HEMS」は、Home Energy Management Systemの略です。家庭で使うエネルギーを賢く管理するシステムです。

※3：他の機器（HEMS など）の値とは異なる場合があります。目安としてご利用ください。

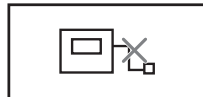
※1、※2の機能を使用するためには、ネットワークの接続が必要です。設定方法は「ネットワークの設定」（44 ページ）をご確認ください。

アンテナアイコン

室内リモコンと宅内ネットワークとの接続状況を示します。



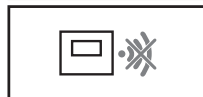
有線LAN使用時に、ルーターと正常に接続している場合の表示です。
※ルーターと接続していても、インターネットと接続しているとは限りません。



有線LAN使用時に、ルーターと接続していない場合の表示です。



無線LAN使用時に、ルーターと正常に接続している場合の表示です。
※ルーターと接続していても、インターネットと接続しているとは限りません。
※ルーターとの電波強度は、4段階で表示します。



無線LAN使用時に、ルーターと接続していない場合の表示です。

非表示：ネットワーク設定が[使用しない]の場合は、表示しません。



現在日時

室内リモコンに設定している現在日時を表示します。

※ ネットワーク接続していない場合は、ご利用中に少しずつずれが発生しますので、定期的に時刻の設定を行ってください。(48 ページ)

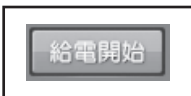
■例：ホーム画面～その3～



停電時運転中の状態メッセージ
停電時運転中の状態をお知らせします。
(40 ページ)

給電開始/ 給電停止ボタン
停電時運転中の状態をお知らせします。

給電開始
給電停止中に表示します。



給電停止
給電動作中に表示します。



通常時の使い方

各運転モードについて（連系時）

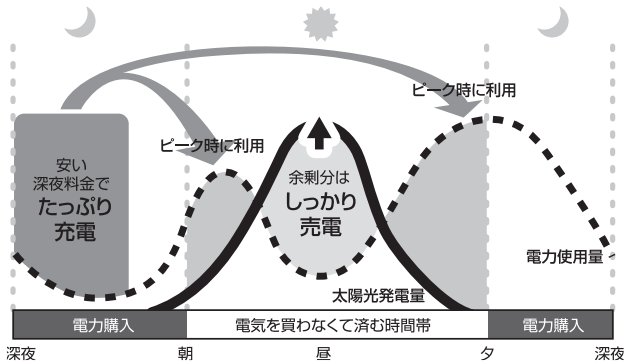
自動運転モード ～押し上げ設定「無」の場合～

■ 経済モード：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の割高な時間帯に設定^{*}することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯には、売電中は蓄電池から放電は行わず、買電中のみ同じ電力を放電します。

※「充放電時刻を設定する」（23 ページ）

※ 外付け太陽光発電システムがない場合も、経済モードを選択してください。

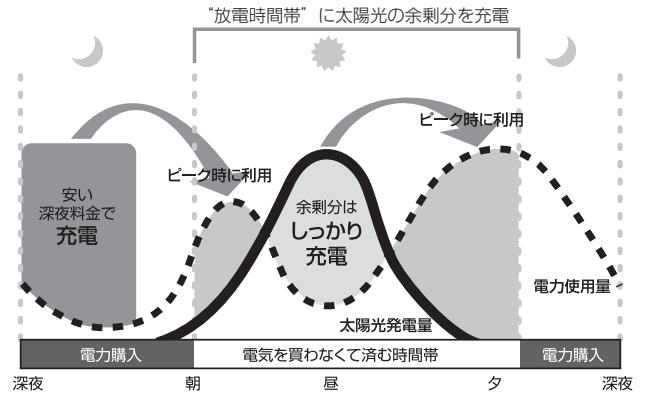


■ グリーンモード：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽光により発電した電力の余剰分^{*}は、「放電時間帯」にのみ蓄電池の充電を行います。

※「充放電時刻を設定する」（23 ページ）

※ 蓄電池残量が 100 % の時は、余剰電力を売電します。



通常時の使い方

自動運転モード ～押し上げ設定「有」の場合～

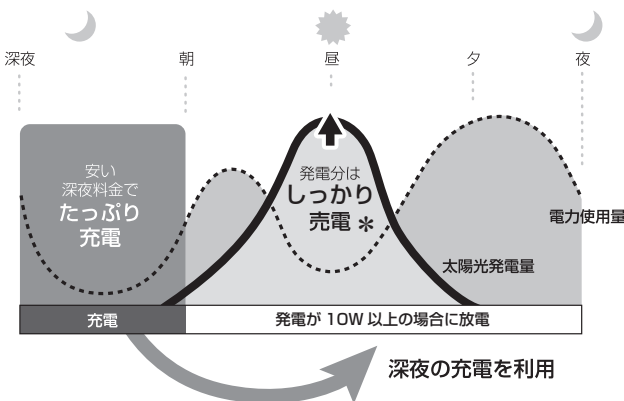
■ 経済モード：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。

充電・放電時間以外の不定時間帯^{*}は、太陽光の発電がある場合のみ放電を行います。

※「充放電時刻を設定する」（23 ページ）

※ 外付け太陽光発電システムがない場合も、経済モードを選択してください。



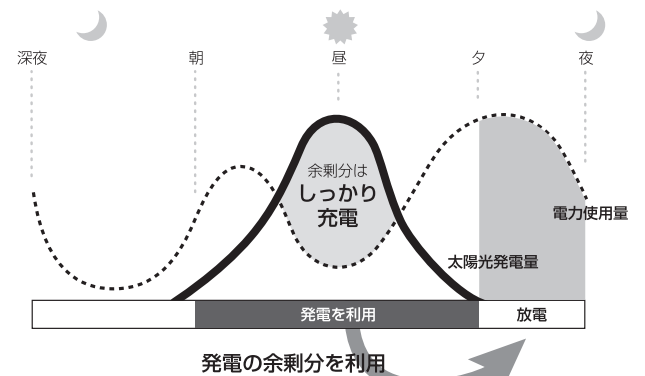
■ グリーンモード：

充電は太陽光の余剰分からのみ行います。

充電時間帯を外付け太陽光発電を行う時間帯に設定し放電時間帯を外付け太陽光発電を行わない時間帯に設定^{*}することで、自家発電したものを優先的に使用する地産地消モードになります。

※「充放電時刻を設定する」（23 ページ）

※ 充電時間帯を、外付け太陽光発電を行う時間帯に設定しないと、一切充電できないので、注意してください。



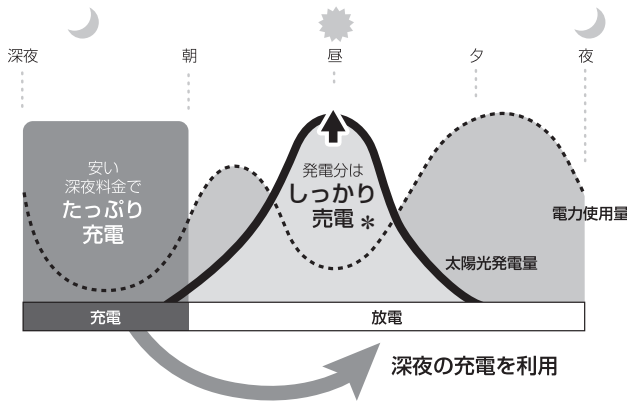
* 電力消費が蓄電池の定格 3.0 kW を超える場合は、不足分を外付け太陽光発電で補います。

* 蓄電池容量がなくなった場合は外付け太陽光発電で補います。

次ページへ続く

■ 深夜電力活用：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が安い時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。



- * 電力消費が蓄電池の定格 3.0 kW を超える場合は、不足分を外付け太陽光発電で補います。
- * 蓄電池容量がなくなった場合は外付け太陽光発電で補います。

■ 手動運転モード

押し上げ設定「有」/「無」共通の手動運転モードです。

■ 充電：

時間帯に関係なく、蓄電池への充電のみを行い、家庭内負荷への電力供給（放電）を行わない設定です。蓄電池がフル充電状態になり次第、充電動作を終了します。動作終了後は待機状態になります。

■ 放電：

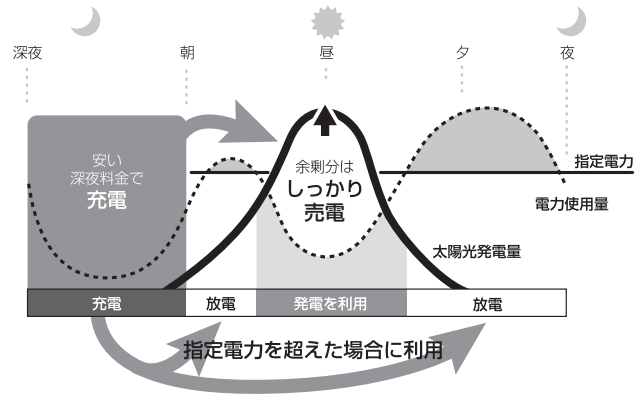
時間帯に関係なく、蓄電池から家庭内負荷への電力供給（放電）のみを行い、蓄電池への充電を行わない設定です*。充電量がなくなり次第、放電動作を終了します。動作終了後は待機状態になります。

※ 押し上げ設定「無」の場合は、売電中は蓄電池からの放電は行いません。

■ ピークカット：

設置時に指定した電力を超える場合は、超えている分を蓄電池から放電し、電力消費のピークをカット*します。放電時間帯を電力消費が多い時間帯に設定します。

※ ピーク抑制電力の初期設定値は、5.0 kW です。設定値変更は、「各種設定項目について」（31ページ）から実施してください。



■ 待機：

時間帯に関係なく、充放電を行わないモードです。充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

※ 運転モードが手動運転モードに設定されている時に、室内リモコンの電源を OFF したあと再度、室内リモコンを起動した場合は、自動運転モードに切り替わります。

※ 蓄電池が使用できなくなることを防ぐため、放電や待機に設定をした場合でも以下のとおりの動作を行います。

- 充電量が少なくなった場合は、直前に設定されていた自動運転モードの充電開始時刻から充電を開始します。
- 待機または放電に設定してから 24 時間経過後に、自動運転モードまたは充電に切り替わります。

運転モードを選ぶ

通常時の運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。本書では、押し上げ設定「無」の場合を例にして説明しています。

※ 押し上げ設定の有無は、設置時に選択・設定します。設置・使用后、押し上げ設定の変更を行う場合は、電力会社と再契約を行う必要があります。

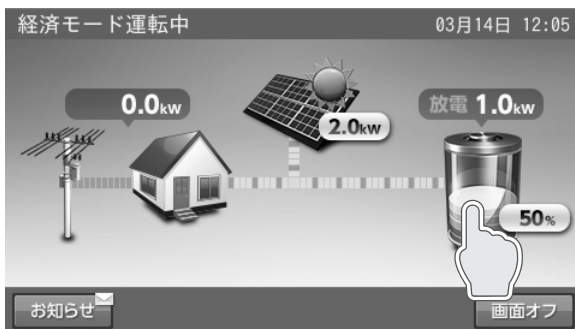
- 押し上げ設定「有」の場合
昼間の使用電力は蓄電池から供給されます。その間に発電している外付け太陽光発電は売電に回すことができます。
- 押し上げ設定「無」の場合
昼間の使用電力は、外付け太陽光発電から供給されます。不足分の電力は蓄電池から供給されます。
- 製品出荷時の設定は [経済モード] です。
- 押し上げ設定の「有」と「無」で、下表の運転モードを選んでいただけます。

	押し上げ設定「無」	押し上げ設定「有」
自動運転モード	経済モード	
	グリーンモード	
	深夜電力活用 ピークカット	
手動運転モード	充電	
	放電	
	待機	

通常は自動運転モードを選択してください。
各運転モードの詳細は 19、20 ページ
を参照してください。

< 自動運転モードの場合 >

1 「蓄電池アイコン」をタッチする



「蓄電池設定」画面に切り替わります。

2 運転モードの「自動」をタッチする



メモ

「ホーム」をタッチすると、ホーム画面に戻ります。

※通常は「自動」を選択してください。

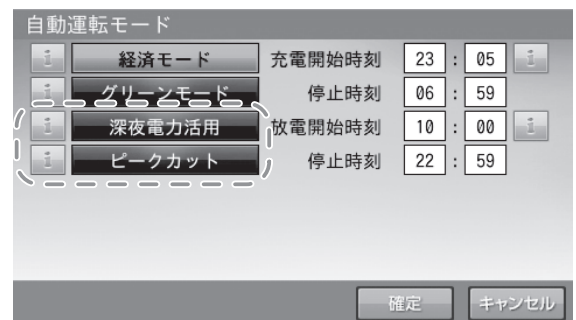
3 「経済モード」、「グリーンモード」を選択し、「確定」をタッチする



「経済モード」または「グリーンモード」を選択して
充放電の開始・停止時刻を確認し、必要あれば変更し
ます。

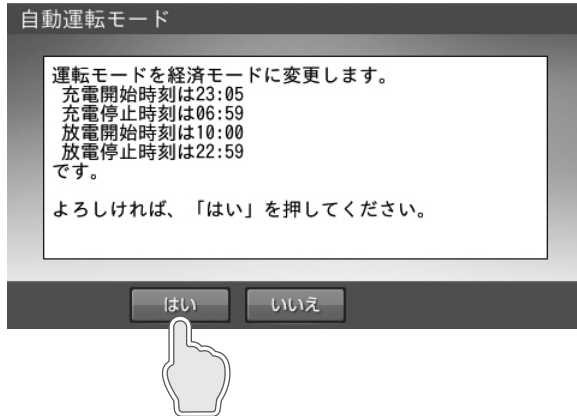
メモ

- 充放電開始・停止時刻を変更する場合は、「充放電時刻を設定する」(23 ページ)を参照してください。
- 「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄して蓄電池設定画面に戻りますか?」の確認画面を示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、蓄電池設定画面または自動運転モードの設定画面に戻ります。
- 押し上げ設定「有」の場合には、「深夜電力活用」および「ピークカット」が追加されます。



次ページへ続く

4 「はい」をタッチする



変更した自動運転モードを保存します。

メモ

「いいえ」をタッチすると、「自動運転モード」の設定画面に戻ります。

< 手動運転モードの場合 >

1 「手動」をタッチする



5 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

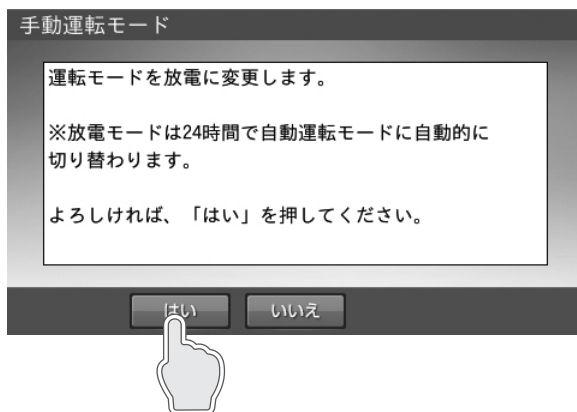
2 設定したいモードをタッチする



メモ

- 「放電」または「待機」を選択した場合は、24時間後、最後に設定された自動運転モードまたは充電に自動的に変更されます。
- 「キャンセル」をタッチすると、「設定が変更されています。変更を破棄して蓄電池設定画面に戻りますか？」の確認画面を表示します。「はい」または「いいえ」をタッチすると、蓄電池設定画面または手動運転モードの設定画面に戻ります。

3 「はい」をタッチする



手動運転モードが確定され、「蓄電池設定」画面に戻ります。

4 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

充放電時刻を設定する

通常運転時の充電開始 / 停止時刻、放電開始 / 停止時刻を運転モードごとに設定できます。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。

「充電開始時刻 / 停止時刻」: 23:05 ~ 6:59

「放電開始時刻 / 停止時刻」: 10:00 ~ 22:59

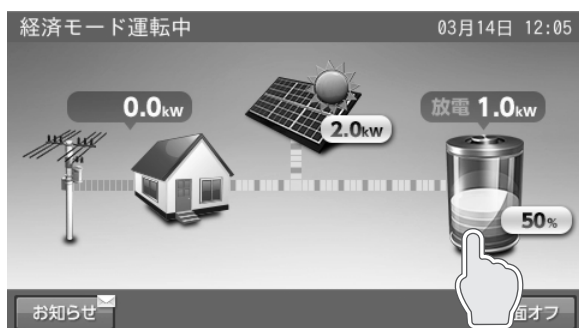
充電開始時刻 / 停止時刻 蓄電池に充電するときの開始 / 停止時刻を設定できます。
放電開始時刻 / 停止時刻 蓄電池から放電するときの開始 / 停止時刻を設定できます。

- 充放電時間帯が 1 分以上重複しないように設定してください。

メモ

- 充電時間帯を短く設定すると、蓄電池残量が 100% まで充電できない場合があります。
- グリーンモード利用時に、夜間充電が多く、太陽光の余剰電力で充電できない場合は、夜間の充電で満充電にならないよう、充電時間を短く設定してください。
- 周囲温度が低い場合、蓄電池の特性上、充電可能量が減少し、100% にならない場合がありますが故障ではありません。

1 「蓄電池アイコン」をタッチする

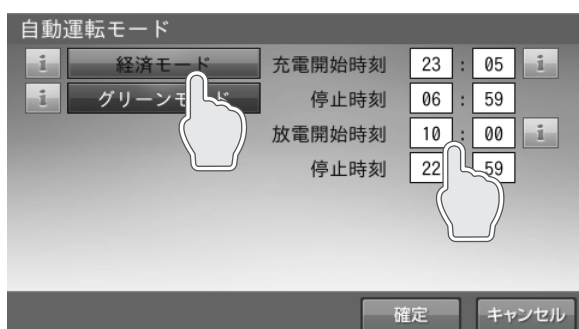


「蓄電池設定」画面に切り替わります。

2 「自動」をタッチする



3 設定したい運転モードをタッチする



選択した運転モードの充放電時間を設定します。

設定したモードの充電開始時刻、停止時刻、放電開始時刻、停止時刻を確認し、変更したい項目の時刻をタッチします。

メモ

- 自動運転モードは、それぞれ別の時刻を設定できます。同じ時刻でも問題ありません。
- 押し上げ設定「有」の場合には、「深夜電力活用」および「ピークカット」が追加されます。

4 「数字キー」をタッチする



時刻を設定します。
数字キーをタッチすると、新しい時刻を入力できます。
←/→をタッチすると、カーソルが移動します。
カーソルがある位置で「消去」をタッチし、入力文字を消すことができます。

メモ

- 「キャンセル」をタッチすると、自動運転モードの設定画面に戻ります。
- 充放電時間は重複して設定できません。

5 「決定」をタッチする

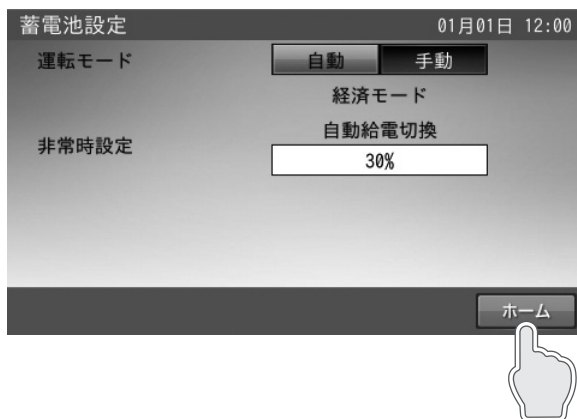


6 「確定」をタッチする



設定を確定します。

7 「ホーム」をタッチする



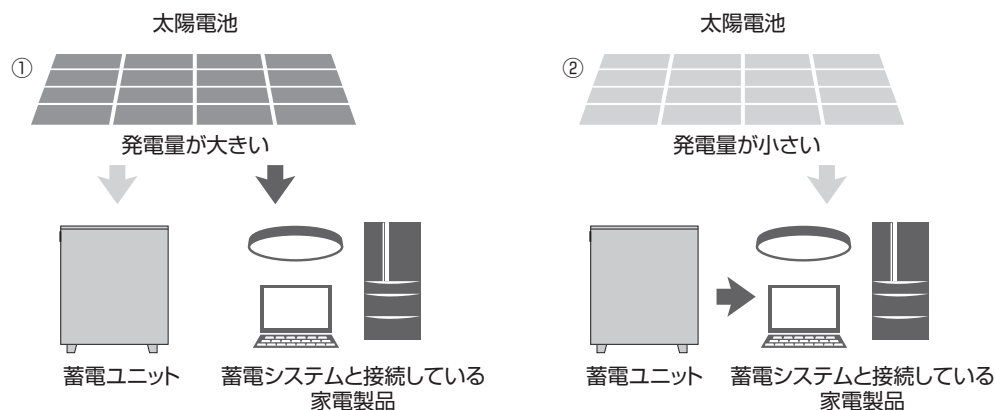
ホーム画面に戻ります。

非常時（停電時）の各設定について

非常時運転モード

自動給電切換

外付け太陽光発電電力と蓄電システムと接続している家電製品での電力使用量を判断しながら、蓄電池からの放電や蓄電池への充電の切り替えを自動で行います。



①外付け太陽光発電電力を蓄電システムと接続している家電製品に給電し、余剰電力を蓄電池に充電します。

②外付け太陽光発電電力が不足している場合や、発電していない場合は、蓄電池から蓄電システムと接続している家電製品に電力を供給します。

非常時安心設定

出荷時：30%

停電が発生しても、蓄電池から電気が使えるよう普段から設定した割合の充電残量を常に残しておく設定です。残量が設定値になると放電を停止します。もしもの停電や、台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるときは、「非常時安心設定」を切り替えることで、安心してお使いいただけます。前日までに切り替えてください。

- 設定値：OFF (0%)、30%、40%、50%、60%、70%

設定値は蓄電池残量の「目安」です。

電池残量は、直前までの電力消費状態や、周囲環境温度などによって、放電停止後に変動することがあります。

メモ

通常時に蓄電池残量が設定値 +5% 未満の場合は、誤作動防止のため放電を開始しません。

【ご注意ください】

非常時安心設定を OFF(0%) にすると、深夜に充電した料金の安い電力をすべて使うことができますが、停電時に蓄電池残量ゼロの場合、翌日の太陽光を発電させて蓄電池が一定量充電するまで、停電中は電気が使用できません。詳しくは、「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(50 ページ) をご確認ください。

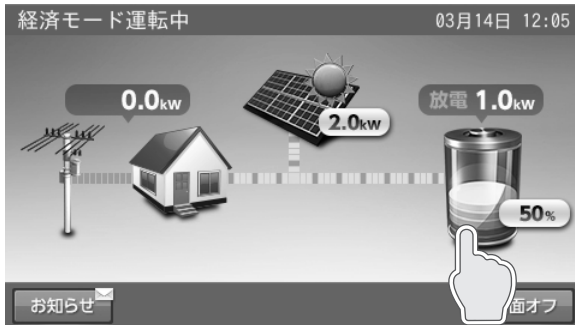
非常時（停電時）の各設定を選ぶ

停電になったときのために、非常時安心設定をお客様のお好みに合わせて選択します。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。

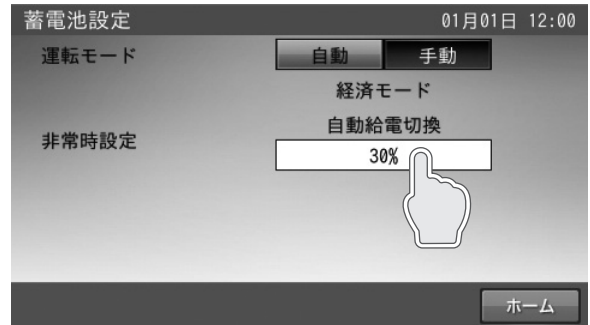
非常時安心設定 : 30%

1 「蓄電池アイコン」をタッチする



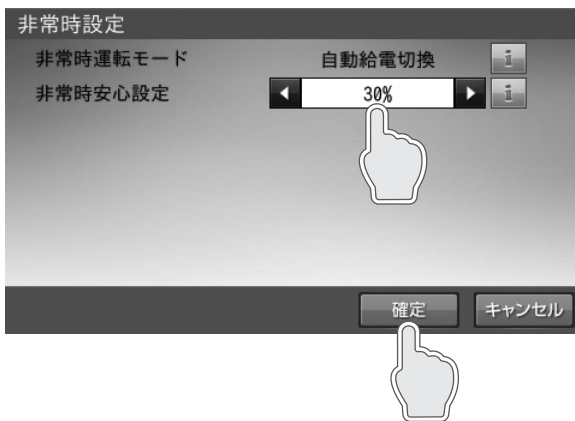
「蓄電池設定」画面に切り替わります。

2 「30%」をタッチする



「非常時設定」画面に切り替わります。

3 非常時安心設定を変更後「確定」をタッチする

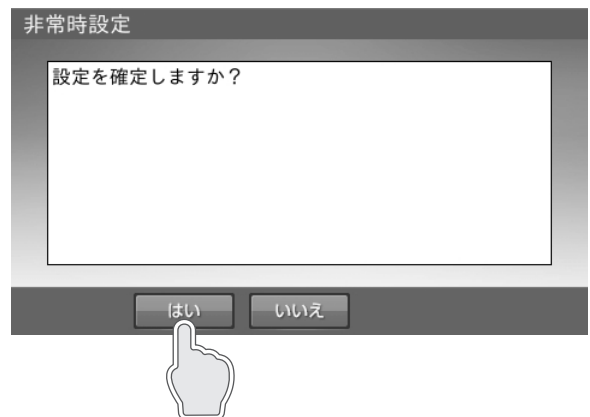


◀ / ▶をタッチして設定を変更します。

メモ

「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されません。

4 「はい」をタッチする

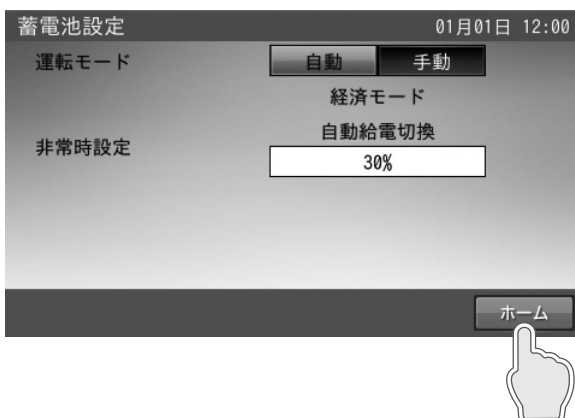


設定を変更して、「蓄電池設定」画面に戻ります。

メモ

「いいえ」をタッチすると、前の画面に戻ります。

5 「ホーム」をタッチする

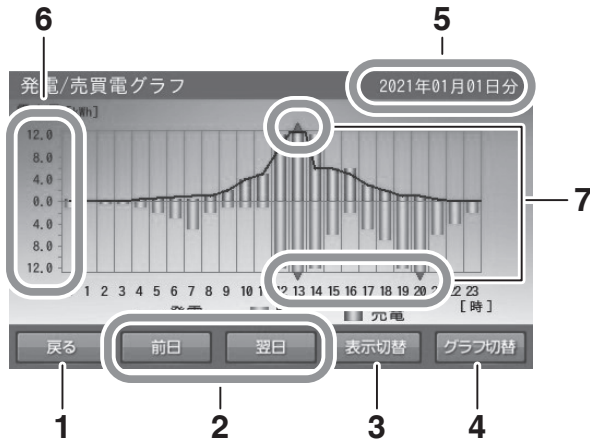


ホーム画面に戻ります。

各グラフについて

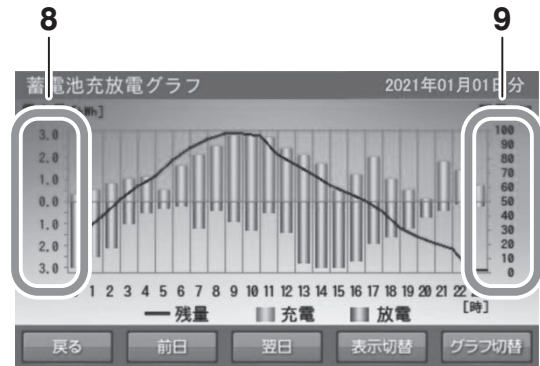
1. 発電 / 売買電グラフ (日別、月別、年別)

太陽光の発電電力量 (kWh) および売電・買電電力量 (kWh) を表示します。外付け太陽光発電電力がない場合も表示します。



2. 蓄電池充放電グラフ (日別、月別、年別)

蓄電池の充放電電力量 (kWh) および蓄電池残量 (%) (日別) を表示します。



通常時の使い方

● グラフ共通

- 1. 戻るボタン**
「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。
- 2. 前日 / 翌日ボタン**
表示されているグラフの前日 / 翌日のグラフを表示します。
- 3. 表示切替ボタン**
「日別」⇒「月別」⇒「年別」⇒「日別」の順に切り替わります。
- 4. グラフ切替ボタン**
「発電 / 売買電グラフ」⇒「蓄電池充放電グラフ」※交互に切り替わります。
- 5. 日付表示**
表示しているグラフの日付を表示します。日付を変更したい場合は、ここをタッチしてください。「日付入力画面」に切り替わります。

● 発電 / 売買電グラフ

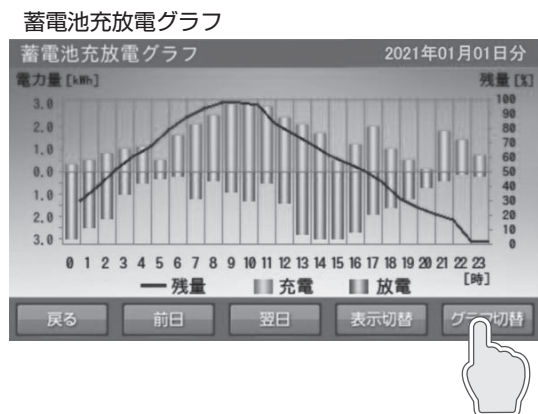
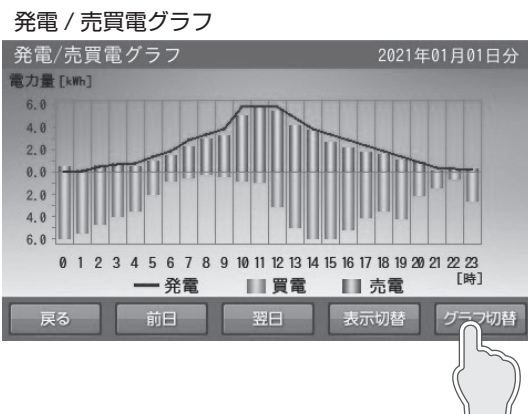
- 6. 電力量 [kWh]**
 - 発電電力量：折れ線グラフで上側に表示します。
 - 売電電力量：棒グラフ（緑色）で上側に棒の長さで表示します。
 - 買電電力量：棒グラフ（オレンジ色）で下側に棒の長さで表示します。
- 7. ▲▼表示**
表示範囲を超えた場合に表示します。

● 蓄電池充放電グラフ

- 8. 電力量 [kWh]**
 - 充電電力量：棒グラフ（オレンジ色）で上側に棒の長さで表示します。
 - 放電電力量：棒グラフ（緑色）で下側に棒の長さで表示します。
- 9. 蓄電池残量表示 [%]**
蓄電池残量を折れ線グラフで表示します。

📌 メモ

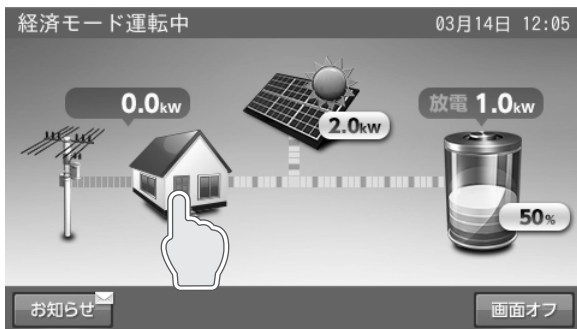
- 本システムの設置時から現在までの過去最大 10 年間相当のグラフを表示し、10 年を超えると古い日付のデータから削除されます。
 - グラフおよび表示量は目安です。測定条件などの違いにより、他の機器 (HEMS など) と異なる場合があります。
 - 室内リモコンの電源を切っている間のデータは、データが保存されないため表示できません。
 - 日時設定を変更したときは、変更時間帯を含むデータが正しいデータではなくなります。HEMS や NTP との時刻同期により日時設定が変更されたときも同様です。
- 各グラフ画面の「グラフ切替」をタッチすると、グラフが切り替わります。



グラフの表示方法

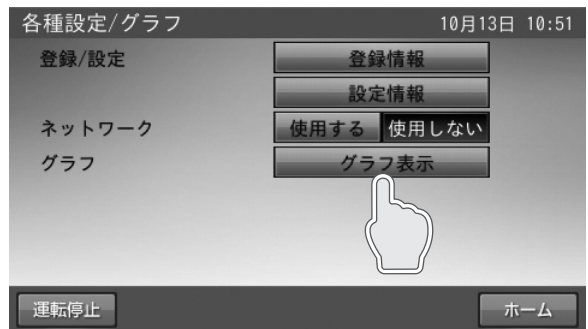
グラフを表示する

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「グラフ表示」をタッチする



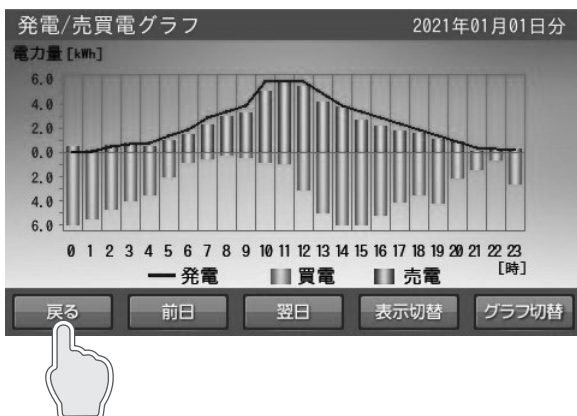
「発電 / 売買電グラフ」画面に切り替わります。

メモ

- 発電 / 売買電グラフの日別を表示します。
- 室内リモコン上の現在時刻までのデータを表示します。

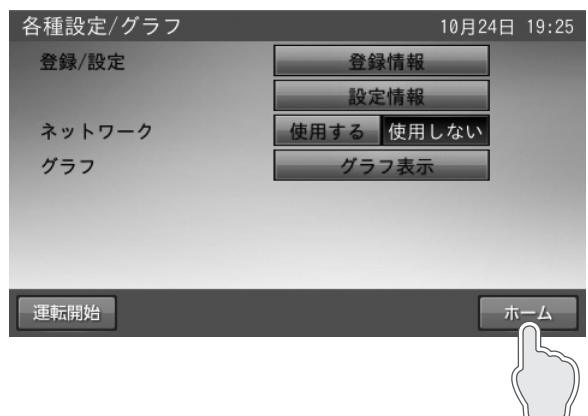
<ホーム画面に戻る場合>

3 「戻る」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

4 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

グラフ期間を変更する

各グラフの期間を変更します。各グラフ画面の「表示切替」ボタンをタッチすると、グラフの表示期間が切り替わります。「日別」⇒「月別」⇒「年別」の順に切り替わります。

■例：発電 / 売買電グラフの場合

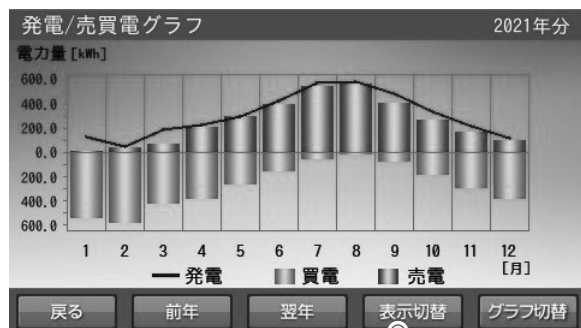
<日別>



<月別>



<年別>



メモ

最後のグラフまで切り替わると、最初のグラフに戻ります。

グラフの年、月、日を設定して変更する（日間表示の場合）

1 「日付」をタッチする



「日付選択」画面に切り替わります。

2 「日付」を入力する

表示させたいグラフの日付を設定します。
←/→をタッチすると、カーソルが移動します。
日付は、設置日から現在日の範囲で選択できます。
カーソルがある位置で「消去」をタッチすると、入力数字を消すことができます。

メモ

年別、月別グラフは、それぞれ年、月を変更してください。

- 月別：月の変更が可能です。
- 年別：年の変更が可能です。

3 「決定」をタッチする

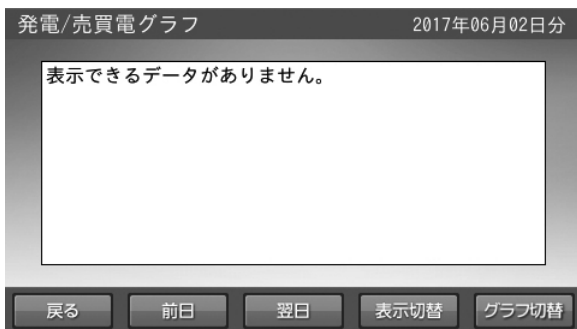
入力したグラフを表示します。

※ 下記の場合は、一部またはすべてのデータが削除または上書きされます。

- 日時設定を変更したとき
- 室内リモコンを修理交換したとき

表示するデータがない場合は、下図を表示します。

■例：表示できるデータがない場合（選択した日付）



各種設定項目について

設定項目



- 画面オフ時間（出荷時設定：5分）
タッチパネルを操作していない状態から、画面がオフするまでの時間（1～10分）を設定できます。
※画面がオフした場合は、タッチパネルに触れると画面が表示します。
- 操作音（出荷時設定：ON）
画面操作音のON / OFFを設定できます。
- 画面明るさ（出荷時設定：5）
画面の明るさを10段階で設定できます。
お部屋の明るさなどの影響により、画面が見えにくい場合は変更してください。
- 数値表示（出荷時設定：電力 & 残量）（次ページ参照）
ホーム画面上の電力値、および蓄電池残量の表示を設定できます。
「電力 & 残量」、「電力のみ」、「残量のみ」、「非表示」の中から選択できます。

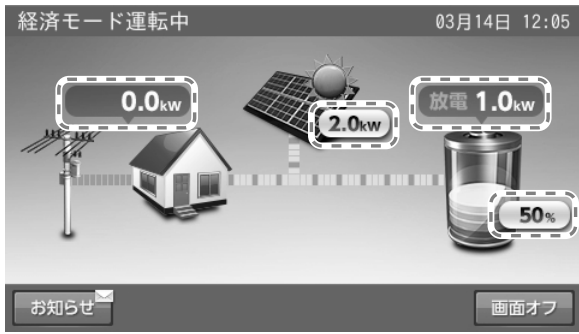


- 契約容量設定（出荷時設定：制限なし）
ご家庭の契約アンペアまたは契約電力のブレーカ容量に対し、本システムの充電電力を調整するための設定です。施工業者が設定します。お客様は変更しないでください。
※電力契約の変更により、設定値を変更する場合は、販売会社に相談してください。
- 最大充電電力設定（出荷時設定：5.9 kW）
蓄電池充電時の最大充電電力を設定できます。最大5.9 kWまで設定できます。
ブレーカ容量によらない、電気のご使用実績に基づく電力契約をされているご家庭で、充電電力の上限を抑えたい場合に設定してください。
本設定と本システムの最大充電電力（3.0 kW）の小さい方の値が充電電力の上限となります。
1.0～5.9 kWの範囲で、0.1 kW刻みで設定できます。
- 停電時出力（出荷時設定：自動）
停電時の電力供給を自動 / 手動設定できます。
 - ・「自動」設定した場合：停電時、自動で蓄電システムと接続している家電製品に電気を供給します。
 - ・「手動」設定した場合：停電時、室内リモコンの画面上で「はい」をタッチすることで、電気を供給します。自動では電気を供給しません。安全を確認してから蓄電システムと接続している家電製品を利用したい場合に利用してください。
- ピーク抑制電力（出荷時設定：5.0 kW）
押し上げ設定「有」の場合に表示され、運転モードが「ピークカット」の時のみ機能する設定です。ピークカット運転時にピーク抑制電力を超える買電電力を蓄電池から放電します。
0.1～10.0 kWの範囲で、0.1 kW刻みで設定できます。

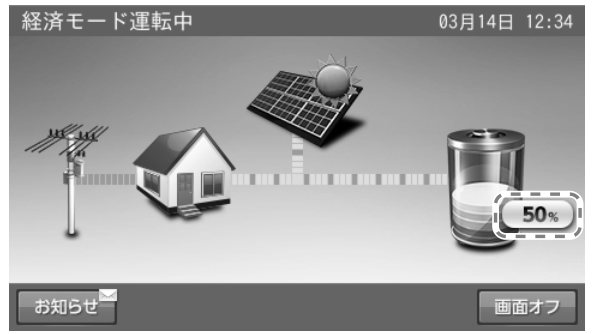


次ページへ続く

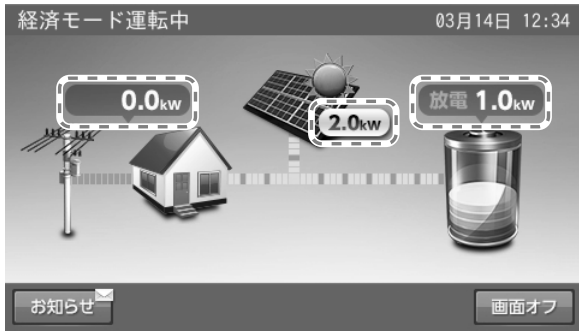
<電力 & 残量>



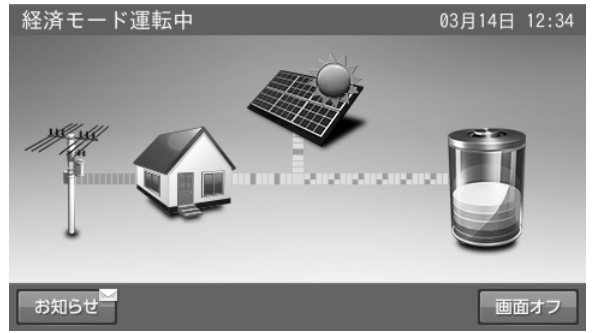
<残量のみ>



<電力のみ>

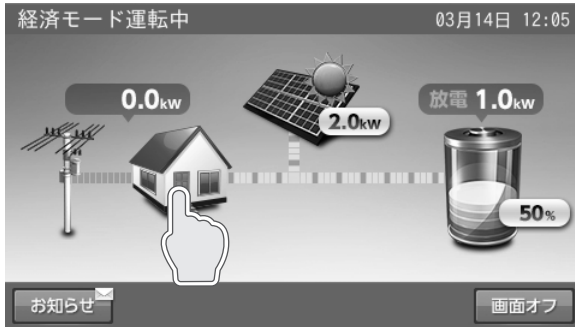


<非表示>



各種設定項目を選ぶ

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「設定情報」をタッチする



「設定情報」画面に切り替わります。

3 各設定項目を変更する



変更したい項目で◀ / ▶、「ON」、「OFF」または「自動」、「手動」をタッチして変更してください。

メモ

- 「次へ」をタッチすると、ページを送ります。
- 「前へ」をタッチすると、前のページに戻ります。

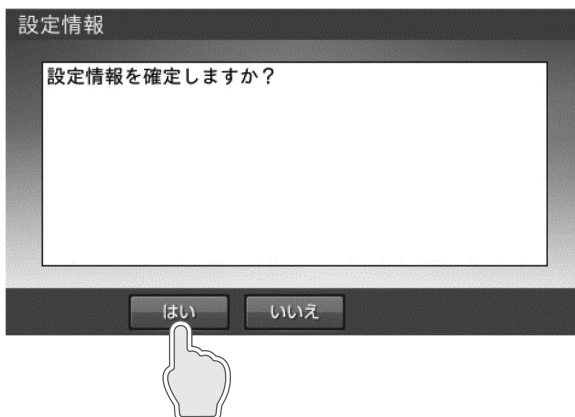
4 「確定」をタッチする



メモ

- 「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されず、「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。
- 押し上げ設定「有」の場合には、「ピーク抑制電力」が追加されます。

5 「はい」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

メモ

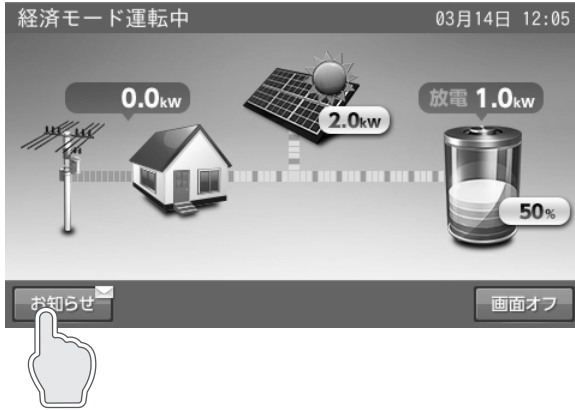
「いいえ」をタッチすると、変更は確定せずに「設定情報」の画面に戻ります。

点検コードの履歴を確認する

点検コードの履歴を確認します。

<点検コード履歴>

1 「お知らせ」をタッチする



「お知らせリスト」画面に切り替わります。

2 「表示したい項目」をタッチする

■例：お知らせリスト画面

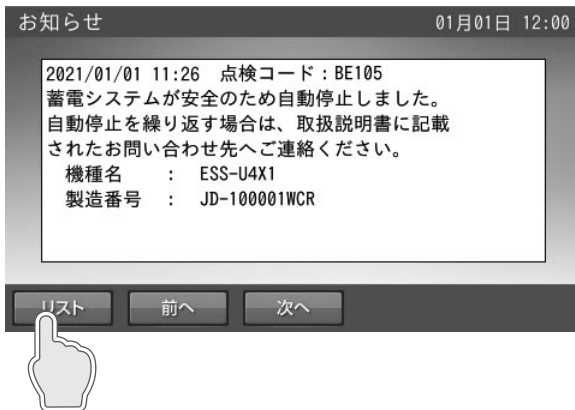


①リストが8件以上の場合は、画面右側にスクロールバーを表示します。■をタッチしながら上下に移動させると、表示をすばやく上下に移動することができます。

②▲/▼にタッチすると、リスト表示を上下に移動させることができます。

<お知らせリストに戻る場合>

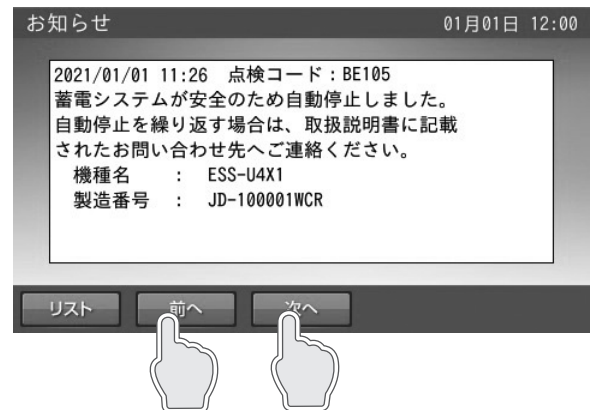
3 「リスト」をタッチする



「お知らせリスト」の画面に戻ります。

<前もしくは次のお知らせを確認する場合>

4 「前へ」または「次へ」をタッチする



●「前へ」：表示しているお知らせより古いお知らせに切り替わります。

●「次へ」：表示しているお知らせより新しいお知らせに切り替わります。

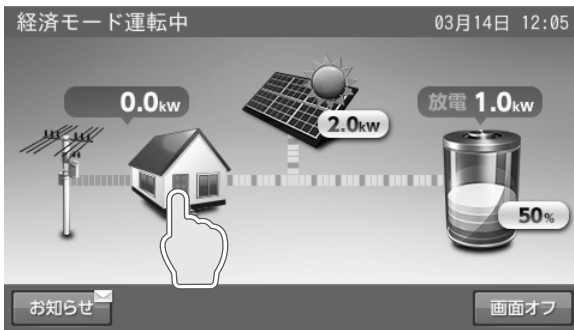
メモ

- お知らせリスト画面の「ホーム」をタッチすると、ホーム画面に戻ります。
- リストには最大100件のお知らせを表示できます。
- 未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーの色で表示します。
- 室内リモコンの現在日時が未設定の場合は、「---/--/--:--」と表示します。
- ESS-U4M1の場合は、「機種名：ESS-U4M1」と表示されます。

登録情報を確認・変更する

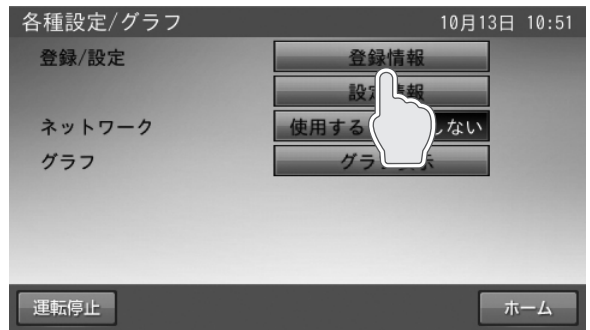
本システムに登録されている機器情報を確認します。郵便番号のみ、お客様にて変更できます。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

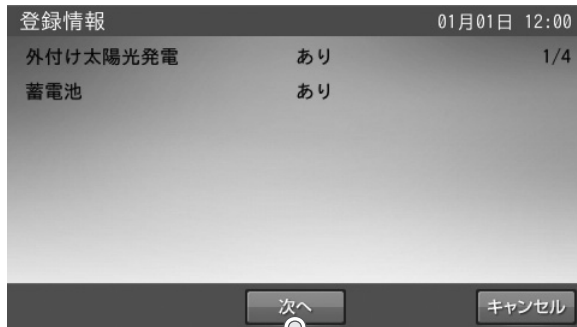
2 「登録情報」をタッチする



「登録情報」画面に切り替わります。

3 「前へ」または「次へ」をタッチする

< 1/4 ページ目 >



- 外付け太陽光発電：あり / なし
- 蓄電池：あり

< 2/4 ページ目 >



- 蓄電ユニット機種名：ESS-U4X1/ESS-U4M1
- 蓄電ユニット製造番号：
- 室内リモコン機種名および製造番号：

< 3/4 ページ目 >



- 蓄電池ユニット容量：16.6 kWh/11.1 kWh
- 蓄電池設置場所：屋外

< 4/4 ページ目 >



- 設置日：設置した日を確認できます。
- 太陽光以外の発電装置：あり / なし
- 電気給湯器：あり / なし
- 郵便番号：お客様宅の郵便番号（変更可）
- エコネットライト：バージョン番号

登録情報を確認後「キャンセル」をタッチして、「各種設定 / グラフ」の画面に戻ります。

次ページへ続く

■郵便番号の変更方法

※郵便番号を入力しておく、異常が発生した際に、原因の特定につながる場合がありますので、正しく入力してください。

1 「郵便番号」をタッチする



「郵便番号」の入力画面に切り替わります。

メモ

郵便番号の入力または変更をしない場合は、「キャンセル」をタッチしてください。「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。通常は、施工時に入力するため、操作は不要です。

2 「郵便番号」を入力する

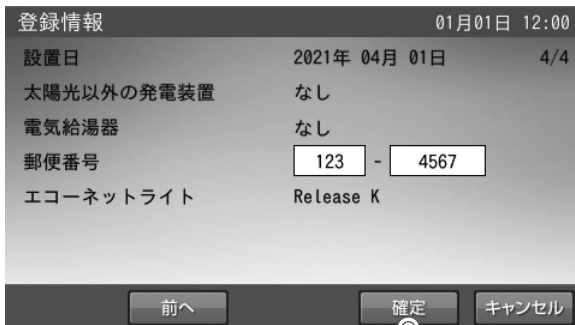


入力または変更する項目をタッチします。
数字キーをタッチして、入力します。
入力が終わったら、「決定」をタッチします。

メモ

この段階では郵便番号の変更は確定していません。

3 「確定」をタッチする

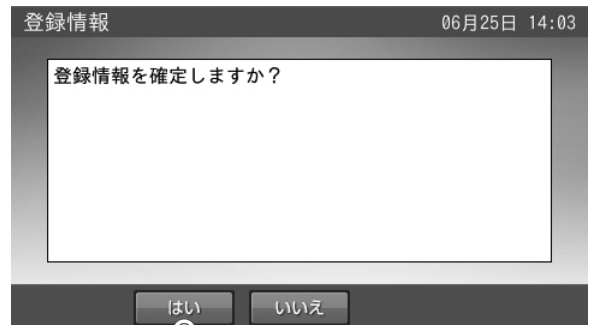


変更した郵便番号で問題なければ、「確定」をタッチします。

メモ

「キャンセル」をタッチすると、変更は確定されず「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

4 「はい」をタッチする



「各種設定 / グラフ」の画面に戻ります。

メモ

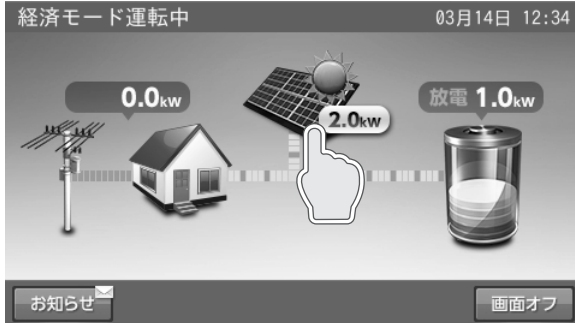
「いいえ」をタッチすると、変更を確定せずに「登録情報」の画面に戻ります。

太陽光発電設定を確認する

太陽光発電設定の項目を確認します。

外付け太陽光発電設定が「なし」で登録されている場合は、本内容の確認はできません。

1 「太陽光パネルアイコン」をタッチする



「太陽光発電設定」画面に切り替わります。

2 外付け太陽光発電の定格値を確認する



- 外付け太陽光発電の定格：本システムと併設している外付け太陽光発電の定格電力です。

3 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

メモ

外付け太陽光発電を設置しているにも関わらず、表示しない場合は、販売店にご連絡ください。

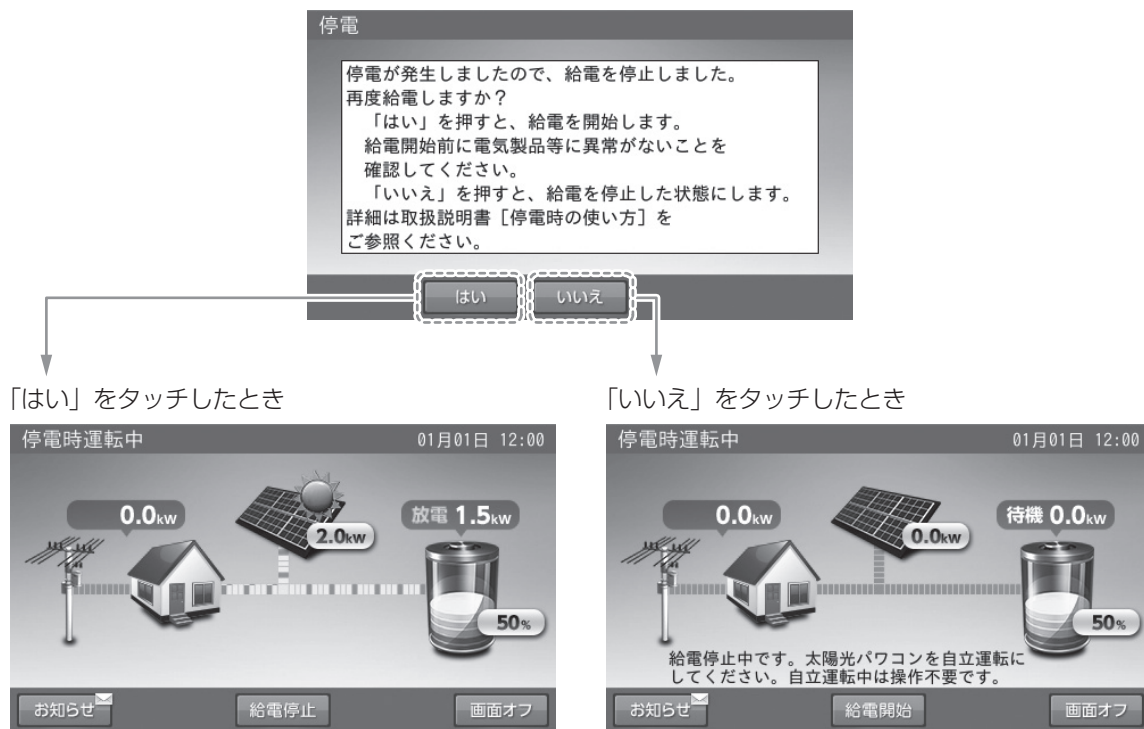
停電時の使い方（自立運転）

- 停電時出力設定を「自動」に設定されている場合（31 ページ参照）は、停電時に自動的に電気製品等に電気が供給されます。

■ 例：停電時運転中のホーム画面



- 停電時出力設定が「手動」に設定されている場合（31 ページ参照）は、停電発生時に確認画面が表示されます。「はい」をタッチすると、電気製品等へ給電を開始します。停電時、電気製品等に電気を供給しても安全であると確認した後、室内リモコン画面の指示に従って操作してください。また、「いいえ」をタッチすると給電を停止した状態を維持します。

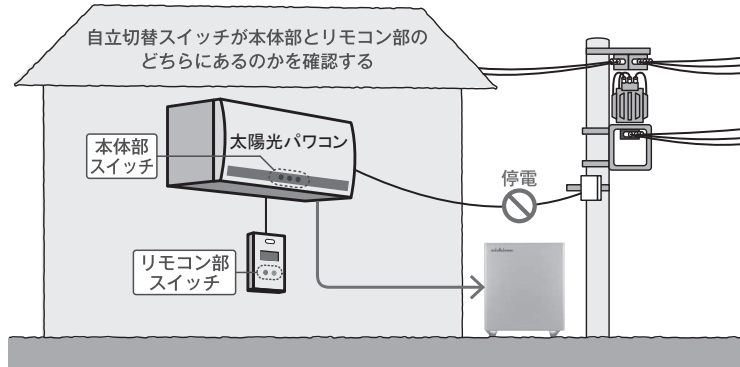


停電時の太陽光パワコンの使用について

停電時に太陽光パワコンの電源を蓄電システムから供給することで、停電時に家電製品へ供給できる電力量を増やすことができます。

蓄電システムと接続している太陽光パワコンの「自立⇔連系」運転切り替えについて

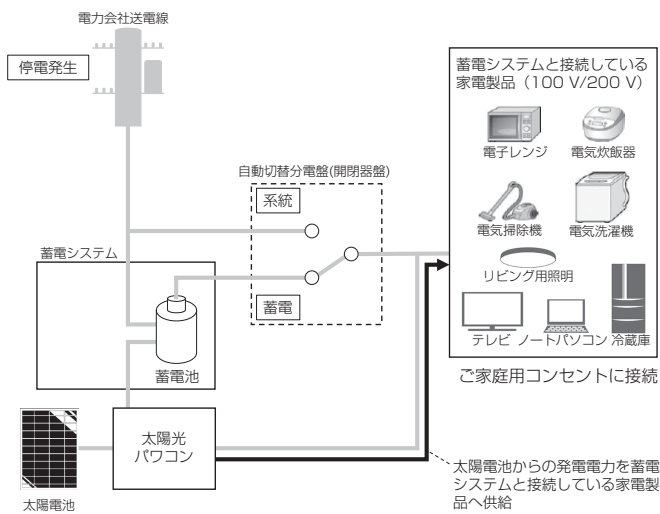
停電時に備えて、事前に太陽光パワコンの「取扱説明書」で「自立⇔連系」運転の切り替え方法をご確認ください。太陽光パワコンによって、切り替え方法が異なります。



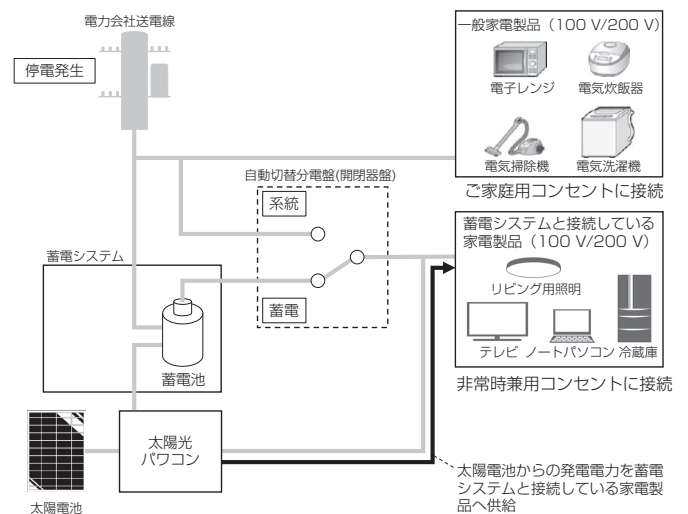
停電時運転中は室内リモコンのメッセージに従って、太陽光パワコンの「自立⇔連系」運転を切り替えてください。

- ① 蓄電池に充電するときは、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えてください。蓄電池残量がゼロになった場合や停電時運転中に蓄電池へ充電したい場合は、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えることで、蓄電池に充電されます。
- ② 蓄電システムと接続している家電製品へ給電を開始するときは、太陽光パワコンを「連系運転」に切り替えてください。家電製品へ給電を開始します。

全負荷対応型で接続した場合



重要負荷対応型で接続した場合



また、蓄電システムで外付け太陽光発電設定が「あり」に設定されているとき、使用状況に応じて室内リモコンの画面にメッセージが表示されます。上記接続以外で配線した場合でも「停電時運転中の状態メッセージ」は表示されます。

■ 停電時運転中の状態メッセージについて

【停電時運転中】



自立運転中です。(太陽光パワコンは連系運転中)
メッセージは表示されません。

※ 蓄電池残量が90%以上の場合は、【太陽光パワコンからの発電量過多】に切り替わります。

【太陽光パワコンからの発電量過多】



停電時運転中に太陽光パワコンからの発電量が過多のとき、または蓄電池残量が90%以上のときにメッセージが表示され、太陽光パワコンは一時停止します。蓄電システム側で自動的に発電量を調整するため、特別な操作は必要ありません。この状態が解消されると【停電時運転中】に切り替わります。

- 太陽光パワコンからの発電量が『家電製品の消費電力+蓄電システムの最大充電電力(3.0 kW)』を上回った場合、太陽光パワコンからの発電を停止させます。その際、家電製品への給電は蓄電システムから続きます。また、太陽光パワコンからの発電量が『家電製品の消費電力+蓄電システムの最大充電電力(3.0 kW)』を下回った場合は、太陽光パワコンからの発電を開始させます。

※ 太陽光パワコンからの発電量が過多のとき、蓄電システムからの給電を1秒程度停止させる場合があります。

※ 停電時運転中に【太陽光パワコンからの発電量過多】を繰り返す場合は、50ページをご確認ください。

※ 太陽光パワコンに周波数異常を知らせる表示が出るかもしれませんが、不良ではありません。

【蓄電池残量ゼロ、または太陽光パワコンから充電中】



停電時運転中に蓄電池残量がゼロ、または太陽光パワコンから蓄電池へ充電するときにメッセージが表示されます。蓄電池へ充電するため、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えてください。蓄電池へ一定量充電されると、【太陽光パワコンを連系運転へ切替】に切り替わります。

※ 停電時運転中に「放電」⇔「充電」動作を繰り返す場合は、50ページをご確認ください。

【太陽光パワコンを連系運転へ切替】



太陽光パワコンを連系運転に切り替える準備が完了したときにメッセージが表示されます。停電時運転に戻すため、太陽光パワコンを「連系運転」に切り替えてください。【停電時運転中】に切り替わります。

※ 停電時運転中に太陽光パワコンの設定が蓄電システムの期待する入力になっていない場合、電力の流れが途切れて表示される場合があります。その場合は、室内リモコンのメッセージに従って、太陽光パワコンを「連系運転」にしてください。

※ 停電時運転中に「放電」⇔「充電」動作を繰り返す場合は、50ページをご確認ください。

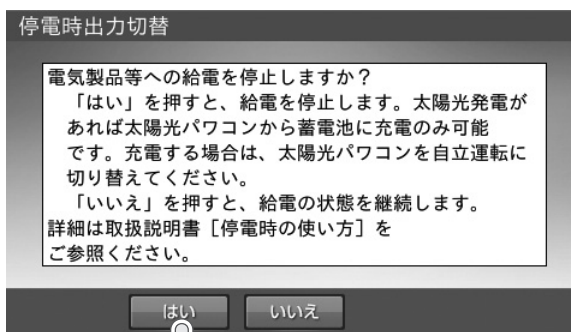
次ページへ続く

停電時運転中に給電を停止する

1 「給電停止」をタッチする



2 「はい」をタッチする

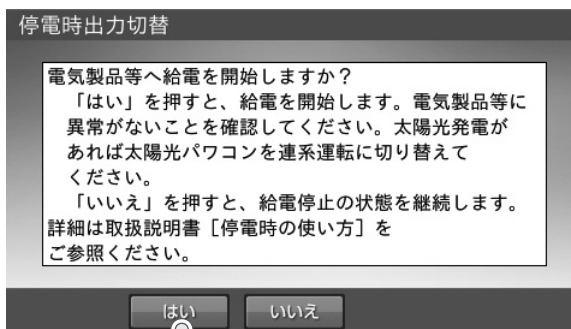


停電時運転中に給電を開始する

1 「給電開始」をタッチする



2 「はい」をタッチする



メモ

「■例：ホーム画面～その3～」(18 ページ)、「停電時に給電できない場合」、「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(50 ページ)、「停電時の接続事例」(65 ページ)も併せてご確認ください。

停電時の家電製品の利用について

蓄電システムと接続している家電製品に供給できる電力は外付け太陽光発電の発電状況により異なります

- 外付け太陽光発電が全く発電していない状況では、片相 1.5kW/ 両相合計 3.0 kW ですが、発電するとその分増加します。
- 蓄電システムが供給できる電力以上の家電製品が接続された場合は、室内リモコンにメッセージを表示して家電製品への給電を停止します。その場合は、接続している家電製品の数を減らしてシステムを再起動させてください。また、突入電流などの家電製品の特性により、同様の現象が発生する場合があります。
- 各相に効率良く電力を供給するために、家電製品を各相にバランス良く接続してください。
- 自動切替分電盤（開閉器盤）の切替スイッチが切り替わる時、2 秒程度電気の供給が瞬断します。そのため、瞬断が発生すると不都合が生じる機器（医療機器等）は接続しないでください。
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつく場合や、動作しない場合があります。
- 途中で電源が切れると不都合が生じる家電製品は接続しないでください。
- 突入電流が大きい家電製品や業務用機器などは一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを利用する際には、動作させる前に、他の家電製品を減らすなど、蓄電システムが供給できる電力を超えないように工夫してください。
- 動作電流が大きい家電製品や業務用機器などは自立運転切り替え時に動作しなかったり、過電流保護が働いてしまう可能性があります。

家電製品をご使用の際は、下記のとおり注意してください。

生命にかかわる家電製品	接続禁止	医療機器等
途中で電源が切れると不具合を生じる家電製品	接続禁止	デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機、業務用機器等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ、業務用機器等
保温機能がある家電製品	動作しない場合がある	炊飯器、温水洗浄便座等
生命の安全にかかわらない家電製品	接続可能	
瞬停後の自立運転において正常に動作する家電製品	接続可能	

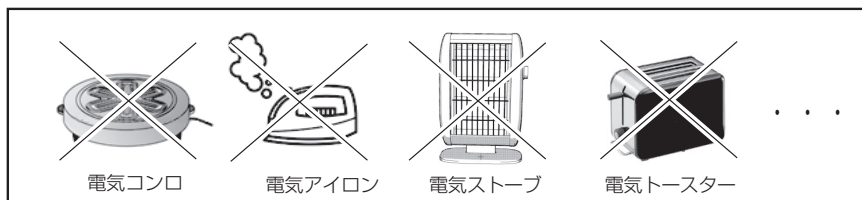
- その他、防犯機器、電熱機器、ヘアードライヤー、電子レンジ、大型液晶テレビ、プラズマテレビ、ホットプレート、温水洗浄便座、モーターで作動する機器（エアコン、洗濯機、掃除機、冷蔵庫、揚水ポンプなど）は機器が正常に起動、動作できない場合があります。



本蓄電システムでは災害による停電の場合、自動的に自立運転に切り替えて電力供給を開始するため、通電火災を引き起こすおそれがあります。そのため、電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品の扱いについては、下記のとおりご注意ください。

- ・ 系統運転時：蓄電システムと接続しているコンセントに接続したままにせず、ご使用後はコンセントから外してください。
- ・ 自立運転時：通電しても安全であることを確認した後、蓄電システムと接続しているコンセントに接続してください。

電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある家電製品一例



蓄電システムと接続しているコンセントの一時的な電源 OFF について

- 蓄電システムと接続しているコンセントの電源は、通常→停電時に約 2 秒間、停電→復電時に約 3 秒間、電源が OFF します。

■ 下記の家電製品を最大 30 時間 (ESS-U4X1) / 21 時間 (ESS-U4M1) 利用可能[※]です

接続家電製品例

- 冷蔵庫：120 W
- 液晶テレビ：170 W
- リビング用 LED シーリング照明：100 W
- ノートパソコン、ルーター等：30 W
- 携帯電話充電（2 台）：10 W
- 合計：約 430 W

※ 蓄電システムのみ使用した場合のおおよその目安です。実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件により変わります。



復電時の操作

- 停電後復電した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。
- 太陽光パワコンの取扱説明書に従って、「連系運転」に切り替えてください。
- 電力会社との協議で定められた時間内（最大 5 分）は、復電しても停電時の動作になります。復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、蓄電システムは通常時のモードで動作します。

ネットワークの設定

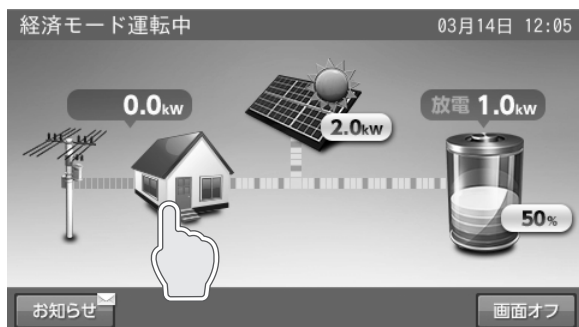
ネットワークの設定をする

見守りサービスを利用する場合は、インターネットに接続するため、IP アドレスおよび DNS サーバーの設定をしてください。ネットワークの環境がない状態でネットワークの設定を有効にした場合や、IP アドレスなど設定が間違っている場合、点検コード「BC551」を表示します。その場合は、ネットワークの設定を見直してください。

※出荷時、ネットワーク設定は、「使用しない」になっています。

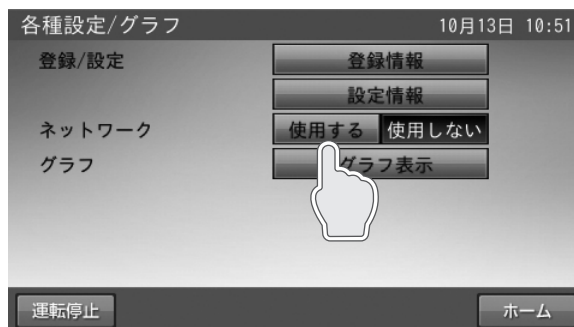
ネットワークを使用する場合（有線）

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「使用する」をタッチする



3 「有線 LAN」 → 「自動設定」または「手動設定」の順にタッチする



- 「自動設定」：手順 7 へ
- 「手動設定」：手順 4 へ

メモ

通常は自動設定です。

4 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。

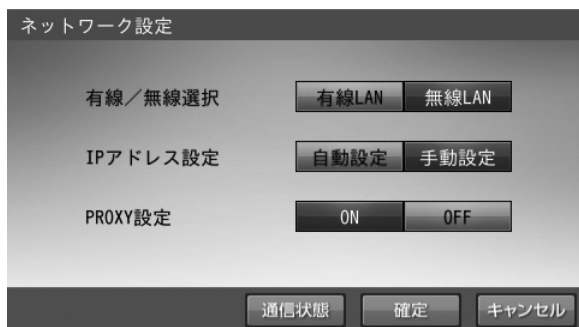
■例：IP アドレス手動設定の画面



5 PROXY 設定を選択する

メモ

通常設定していただく必要はありません。



- 「ON」：手順 6 へ
- 「OFF」：手順 7 へ

次ページへ続く

6 各項目を入力後「決定」をタッチする

各項目の箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。



7 「確定」をタッチする



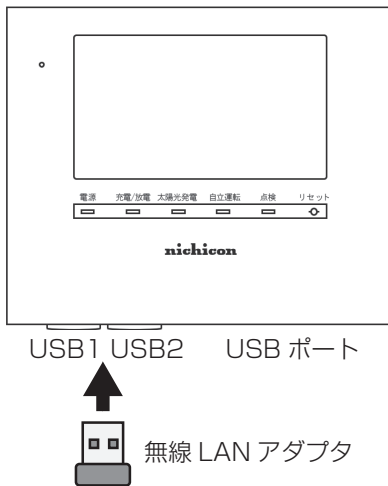
確定してよいか確認メッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。

ネットワークを使用する場合（無線）

メモ

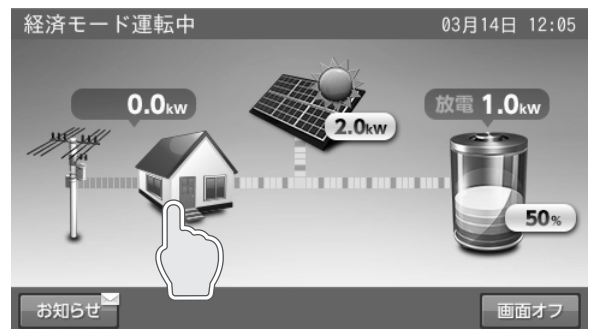
- 無線 LAN アダプタ（無線 LAN 子機）が室内リモコンに接続されていないと、無線 LAN は選択できません。
- 無線 LAN アダプタを室内リモコン底面にある USB ポートに接続してください。
- 無線 LAN アダプタは、別途ご購入ください。
- 対応無線 LAN アダプタは、「planex 社製 GW-450D KATANA」、「planex 社製 GW-450D2」、「planex 社製 GW-450S」、「Buffalo 社製 WI-U2-433DM」、「Buffalo 社製 WI-U2-433DMS」、「I-O DATA 社製 WN-AC433UK」です。（市場の状況によっては、入手できない可能性があります。）

1 無線 LAN アダプタを USB ポートに接続する



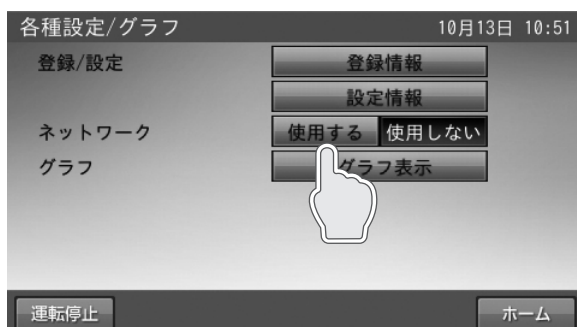
いずれかの USB ポートの蓋を外して、無線 LAN アダプタを接続してください。

2 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「使用する」をタッチする



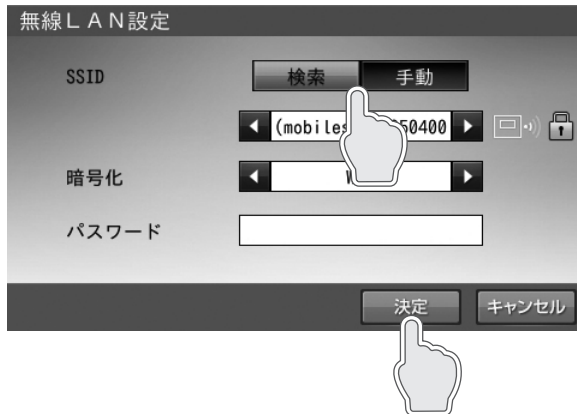
4 「無線 LAN」をタッチする



次ページへ続く

5 各項目を入力後「決定」をタッチする

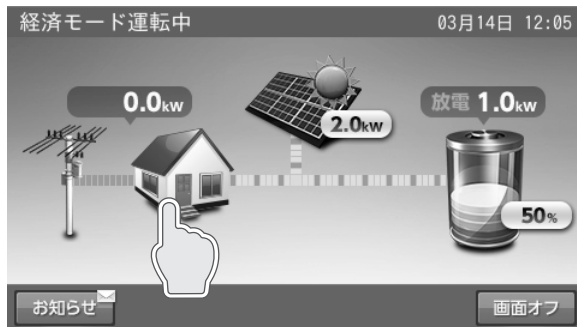
各項目の箇所をタッチすると、キーボードが表示され入力できます。



- 「検索」：使用する無線LANルーターのSSIDを選択し、ルーターで設定されている暗号化方式の選択、およびパスワード（セキュリティーキー）の入力を行います。
- 「手動」：使用する無線LANルーターのSSIDを入力し、ルーターで設定されている暗号化方式の選択、およびパスワード（セキュリティーキー）の入力を行います。

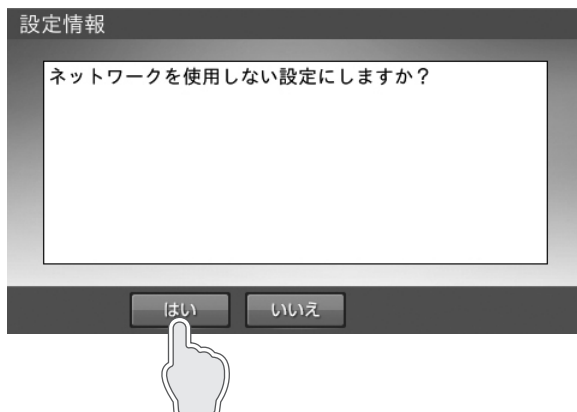
ネットワークを使用しない場合

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「はい」をタッチする

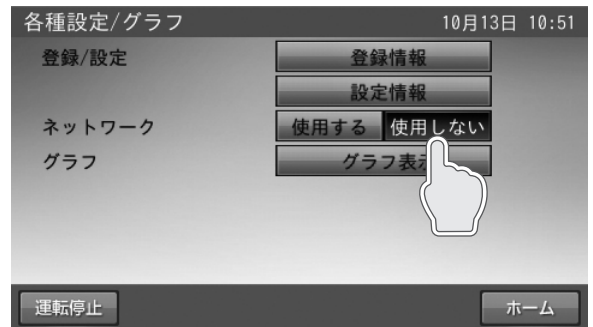


6 「確定」をタッチする



確定してよいか確認メッセージが表示されますので、「はい」をタッチします。

2 「使用しない」をタッチする



メモ

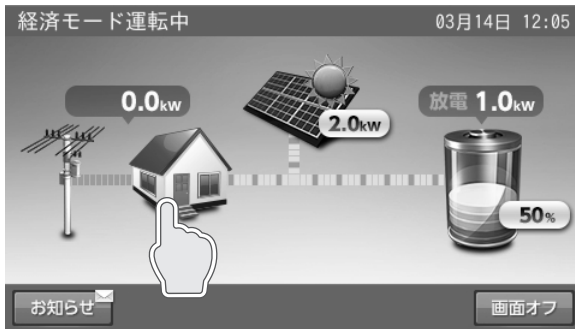
ネットワークを使用しない場合、以下の項目は利用できません。

- 見守りサービス
- ソフトウェアの更新

ネットワーク接続の通信状態を確認する

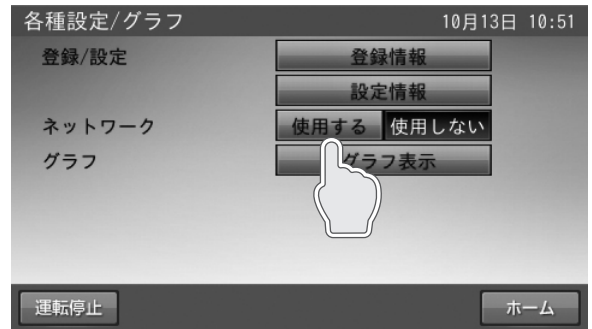
ネットワーク接続の通信状態を確認できます。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「使用する」をタッチする



3 「通信状態」をタッチする



4 通信状態を確認する

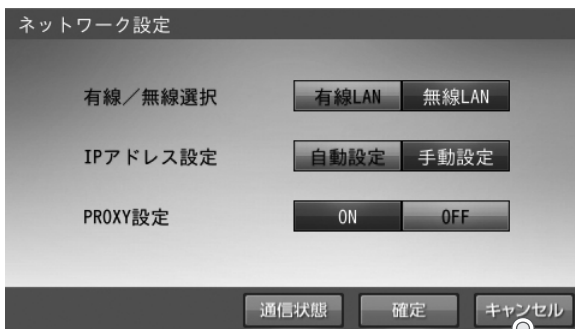


- ルーター接続：ルーターとの接続状態
- NTPサーバ接続：時刻情報サーバとの接続状態
- 見守りサーバ接続：ニチコン見守りサーバとの接続状態

確認後は、「戻る」をタッチしてください。

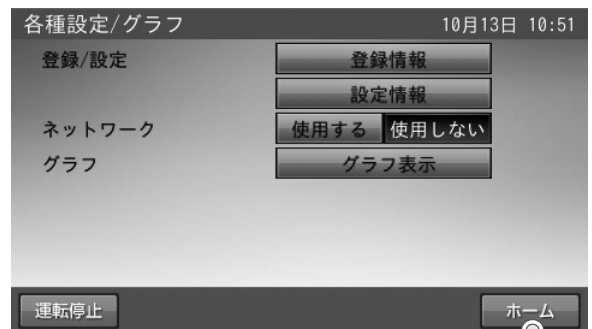
表示内容を更新する場合は、「更新」ボタンをタッチしてください。

5 「キャンセル」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

6 「ホーム」をタッチする



「ホーム」画面に戻ります。

日時の設定

現在日時を設定します。

1 「日時」をタッチする



「現在日時」画面に切り替わります。

2 日時を変更後「確定」をタッチする



数字キーをタッチすると、新しい時刻が入力されます。
←/→をタッチすると、カーソルが移動します。
カーソルがある位置で「消去」をタッチして入力数字を消すことができます。
「キャンセル」をタッチすると、変更を確定せず、ホーム画面に戻ります。
「確定」をタッチすると、変更を確定してホーム画面に戻ります。

メモ

- 現在時刻は、長年の使用により進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧めします。現在時刻に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう場合があります。
- ネットワークに接続している場合は、1日1回、現在時刻が更新されますので、設定は不要です。

こんなときは

ブザー音や異音について

ブザー（ピピ音）が鳴ったとき

ブザー（ピピ音）が鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されたメッセージおよび「点検コード（BExxx、BFxxx）が表示されたとき」（56 ページ）の処置に従ってください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 （運転開始時と、停止時に発生します）
ブーン音	ファンの音です。
ガシャン音	自動切替分電盤（開閉器盤）の自動切替スイッチが切り替わるときに発生する音です。 （停電 / 復電時に発生します）

メモ

- 本製品とは、蓄電システム（ESS-U4X1/ESS-U4M1）および自動切替分電盤（開閉器盤）のことを指します。
- 聴覚感覚が高い方にとって、運転時の高周波音は不快に感じる場合がありますが異常ではありません。

動作がおかしいと感じたとき

ブレーカが頻繁に落ちる場合

お買い上げの販売会社へご連絡ください。

契約電力を変更する場合

契約容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電システムと接続している家電製品のブレーカが頻繁に落ちる場合

接続している家電製品を減らしてください。

蓄電システムと接続している家電製品が使用できない場合

- ブレーカが落ちていないか確認してください。ブレーカが落ちている場合は、ブレーカを上げてください。
- 室内リモコンに点検コードが表示されている場合は、メッセージおよび「点検コード（BExxx、BFxxx）が表示されたとき」（56 ページ）の処置に従ってください。
- 「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」（50 ページ）を参照してください。外付け太陽光発電がなく、蓄電池残量がゼロの場合は、蓄電システムと接続している家電製品を利用することはできません。
- 上記要因でない場合、故障の可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

室内リモコンが故障している可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。

停電時、外付け太陽光発電がなく、蓄電池残量がゼロの場合は、室内リモコンの画面は表示されません。

蓄電池残量を確認してください。ゼロの場合、「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」（50 ページ）の処置を行っても室内リモコンの画面が表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

100%まで充電できない場合

- 充電時間帯に他の家電製品（電気温水器、床暖房など）を多く使っている場合、電力契約によっては、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。その場合は、電力契約の見直しなどについて、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- 充電時間が短い場合、100%まで充電できない場合があります。「充放電時刻を設定する」（23 ページ）を参照してください。
- 最大充電電力設定を低く設定している場合があります。「各種設定項目について」（31 ページ）の最大充電電力設定を確認してください。
- 停電時運転中は、蓄電池残量が90%以上の場合、太陽光パワコンからの余剰電力は充電できません。100%まで充電したいときは、「給電停止」ボタンをタッチして給電を停止させ、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えてください。給電を停止させる方法は、「停電時運転中に給電を停止する」（41 ページ）を参照してください。

停電時に給電できない場合

ホーム画面の「給電開始 / 給電停止」ボタンが「給電開始」表示になっている場合、蓄電池から放電することはできません。「給電開始」ボタンをタッチして給電を開始してください。

給電開始 : 給電停止中には「給電開始」ボタンを表示します。このボタンをタッチすると、給電を開始します。

給電停止 : 給電動作中には「給電停止」ボタンを表示します。このボタンをタッチすると、給電を停止します。

停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合

夜間など外付け太陽光発電電力がない状態で停電になり、停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合は、蓄電システムが停止します。その場合は、室内リモコンの画面をタッチしても何も表示されません。

● 外付け太陽光発電電力が得られた場合

- ①蓄電池へ充電するため、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えて蓄電池を充電してください。
 - ②ある程度充電が進むと、室内リモコンの画面にメッセージが表示されますので、画面の指示に従ってください。
- ※ 太陽光パワコンの取扱説明書に従って、「連系⇄自立」運転に切り替えてください。
 - ※ 室内リモコンに点検コード「BF404」を表示する場合があります。その場合は、「非表示」をタッチして、点検コード画面を閉じてください。外付け太陽光発電電力による蓄電池の充電が進むと、点検コード「BF404」は自動的に解消します。

📝 メモ

- 太陽光パワコンが「自立運転」かつ、蓄電池へ充電中は、蓄電システムと接続している家電製品には一切電気が供給されません。
- 室内リモコンにその他の点検コードが表示された場合は、「点検コード（BExxx、BFxxx）が表示されたとき」（56 ページ）または「点検コード（BCxxx）が表示されたとき」（58 ページ）の処置に従ってください。

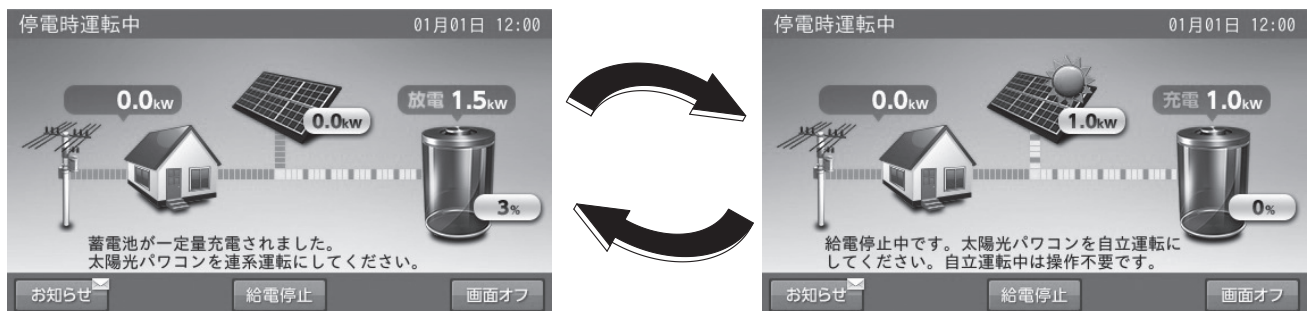
● 外付け太陽光発電電力が得られない場合

復電するまで、本システムを利用することはできません。

復電後、点検コード「BF404」を発報した場合には、お客様にて「非表示」をタッチして点検コード画面を閉じてください。充電時間帯に自動で充電を行います。

停電時運転中に「放電」⇄「充電」動作を繰り返す場合

停電時運転中に、太陽光パワコンが「自立運転」の場合、蓄電池に一定量充電されると「放電」動作を開始し、蓄電池残量がゼロになると「充電」動作に戻ります。【停電時運転中】に切り替えるために、太陽光パワコンを「連系運転」にしてください。（40 ページ）



停電時運転中に【太陽光パワコンからの発電量過多】を繰り返す場合

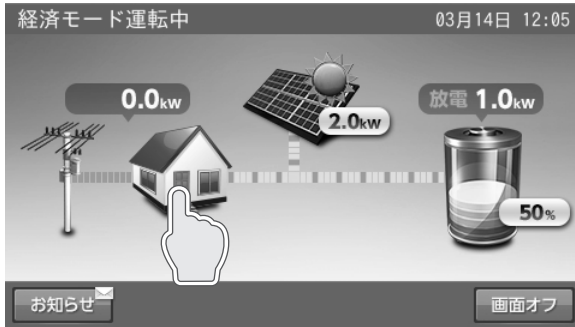
停電時運転中に、太陽光パワコンの発電量が過多のとき、システム保護のため、太陽光パワコンの発電を停止します。太陽光パワコンの発電が再開されたときに、太陽光パワコンの発電量が過多の場合は、再び太陽光パワコンの発電を停止します。その際は蓄電システムと接続している家電製品を増やすなど、太陽光パワコンからの発電量過多の状態を解消してください。また、蓄電池残量が90%以上の場合も、太陽光パワコンの発電を停止します。

その他ご使用に関する操作方法

停電時、安全を確認してから蓄電システムと接続している家電製品をご利用になりたい場合

下記に従って、操作を行ってください。

1 「家アイコン」をタッチする



「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

2 「設定情報」をタッチする



「設定情報」画面に切り替わります。

3 「次へ」をタッチする



4 「手動」をタッチする

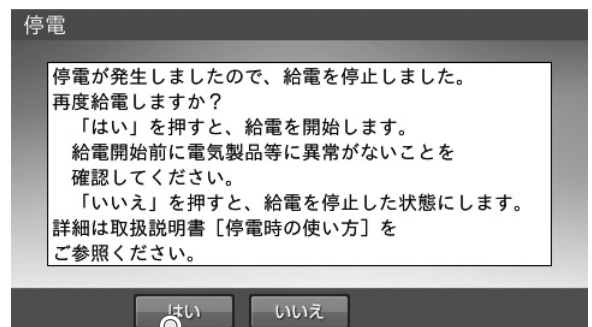


「設定情報」で「停電時出力」の設定を「手動」にします。「確定」をタッチします。

5 安全を確認する

停電が発生したら、配線、蓄電システムと接続している家電製品などが安全であることを確認します。

6 「はい」をタッチする



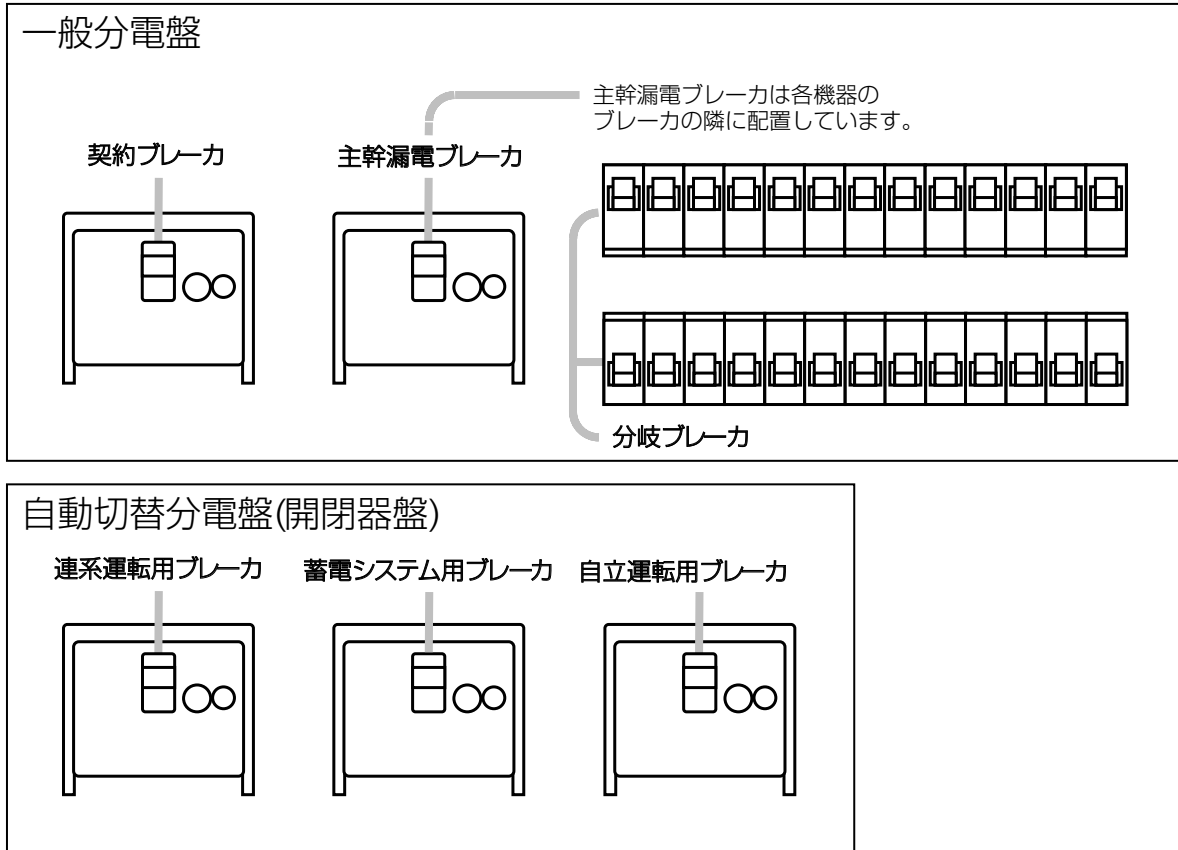
直前の画面に戻り、蓄電システムと接続している家電製品に電気が供給されます。

長期不在の場合 (2 週間以上)

長期不在する場合は、室内リモコンは「ON」のまま、運転モードを「経済モード」、「グリーンモード」、「深夜電力活用」、「ピークカット」、「充電」いずれかに設定してください。

また、一般分電盤の「契約ブレーカ」と自動切替分電盤（開閉器盤）の「連系運転用ブレーカ」、「蓄電システム用ブレーカ」は「ON」の状態を維持してください。

分電盤、ブレーカの配置例



メモ

家電製品に電気を供給したくない場合は、一般分電盤内の個々の分岐ブレーカを「OFF」に切り替えてください。

重要

- ・ 故障時以外は、契約ブレーカ、連系運転用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカおよび室内リモコンを「OFF」にしないでください。
- ・ 契約ブレーカ、連系運転用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカおよび室内リモコンを「OFF」の状態、2 週間を超えて放置されると、蓄電池残量が減り、過放電により、蓄電池が使用できなくなる可能性があります。
- ・ 蓄電システムを「運転停止」または室内リモコン「OFF」の状態、2 週間以上放置しないでください。過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

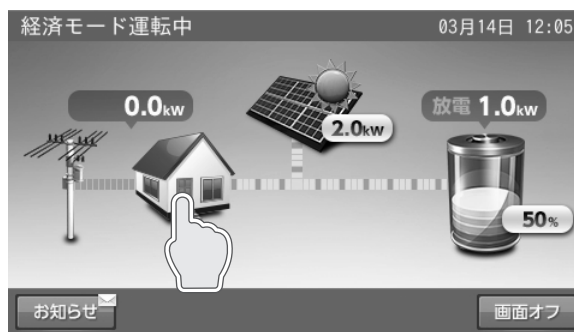
次ページへ続く

蓄電システムを停止させる場合

1 運転停止前確認

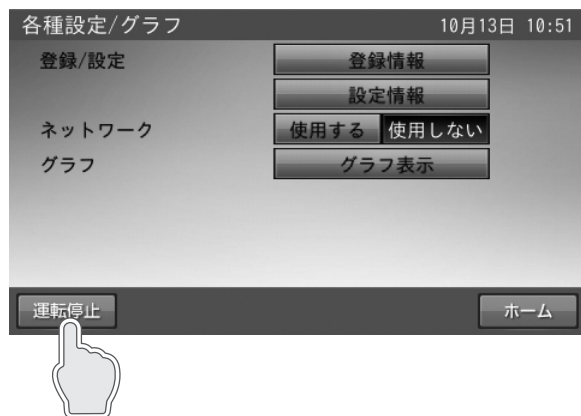
家電製品の電源を「OFF」にしてから蓄電システムを停止させてください。

2 「家アイコン」をタッチする



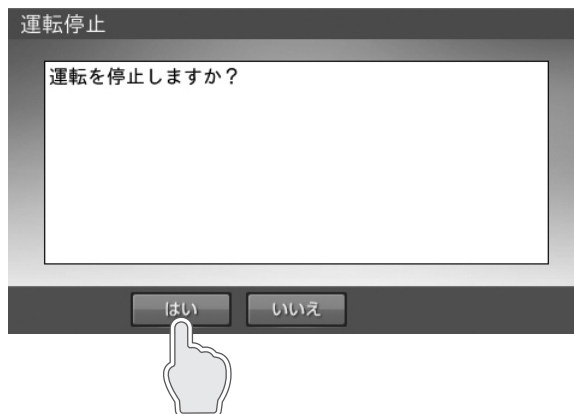
「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

3 「運転停止」をタッチする



運転を停止します。

4 運転停止を確定した後は「はい」をタッチする

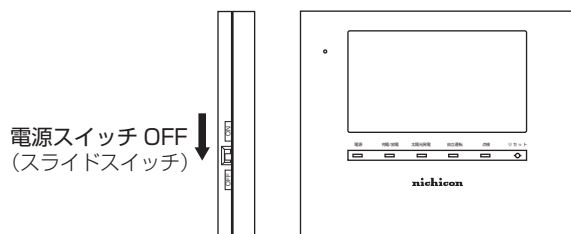
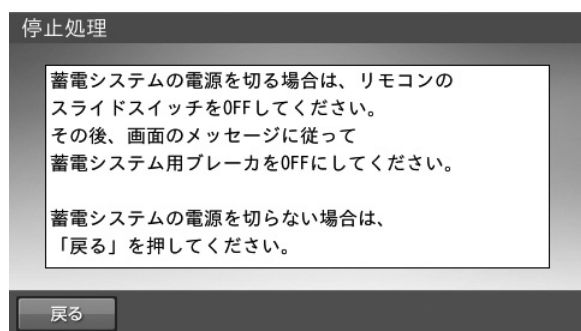


こんなときは

メモ

「いいえ」にタッチすると、前の画面に戻ります。

5 室内リモコンを OFF にする

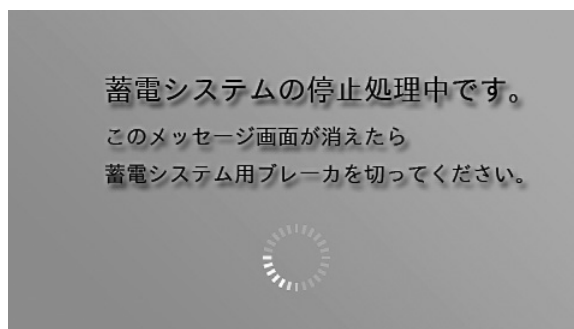


メモ

蓄電システムを停止しない場合は、「戻る」にタッチしてください。「各種設定 / グラフ」画面に戻ります。

「運転開始」にタッチして、必ず運転状態にしてください。

6 蓄電システム用ブレーカを OFF にする



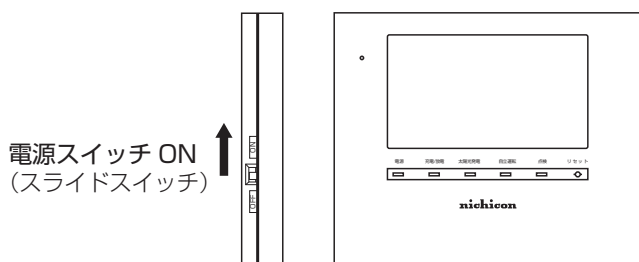
「蓄電システム用ブレーカ」を「OFF」にしてください。「蓄電システム用ブレーカ」の位置は、52 ページを参照してください。

※ 蓄電システムを運転停止の状態でも、2 週間以上放置しないでください。過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。蓄電システムを運転停止した際は、速やかに蓄電システムを起動させ、運転状態にしてください。（54 ページ）

次ページへ続く

蓄電システムを起動させる場合

1 蓄電システム用ブレーカ・室内リモコンを ON にする



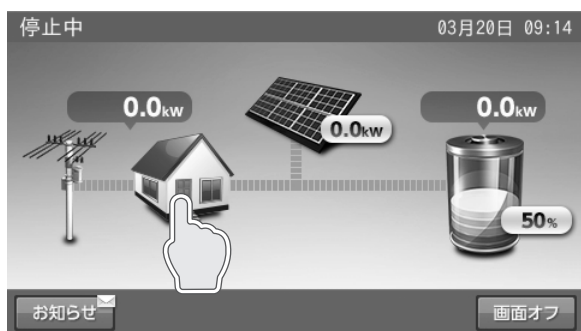
「蓄電システム用ブレーカ」を「ON」にしてください。
「蓄電システム用ブレーカ」の位置は 52 ページを参照してください。

蓄電リモコン起動中です。
しばらくお待ちください。
(この画面中は電源を切らないでください)

メモ

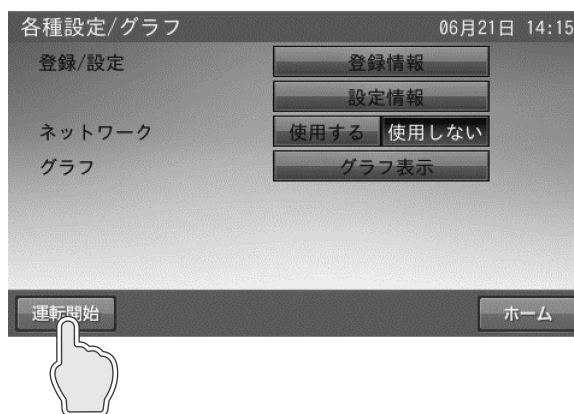
- 上記の画面表示中は、室内リモコンの電源を「OFF」にしないでください。
- 日時設定の数字キーが表示されたときは、「日時の設定」(48 ページ)に従い、現在日時を設定してください。

2 「家アイコン」をタッチする

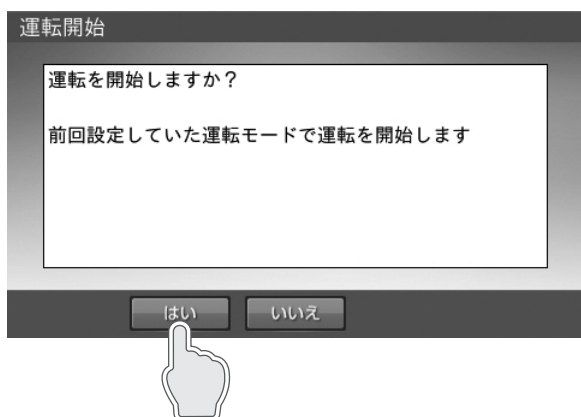


「各種設定 / グラフ」画面に切り替わります。

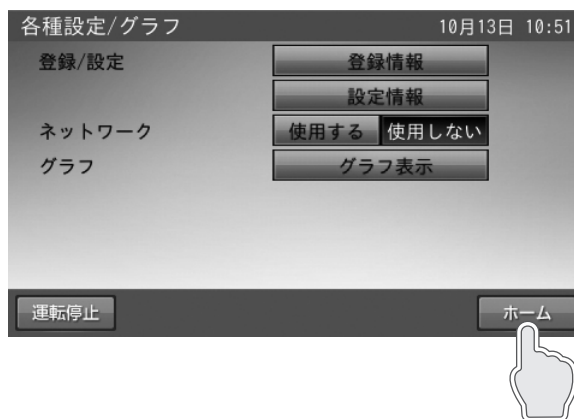
3 「運転開始」をタッチする



4 運転開始を確定した後「はい」をタッチする



5 「ホーム」をタッチする



蓄電システムを廃棄する場合

使用后、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。

風水害または地震などの対応

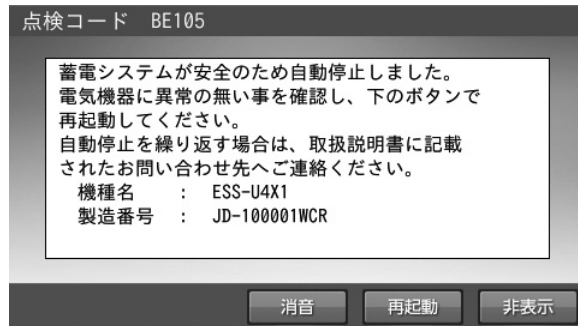
- 風水害の水没のおそれがあるときは、あらかじめ蓄電システムの運転を停止（53 ページ）させて、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。本操作により、家電製品の電源が入らなくなった場合は、蓄電システムをの運転を停止させた状態で、販売会社までご連絡ください。
- 水没した場合は、蓄電システムを停止させた状態で、販売会社までご連絡ください。
- 地震により点検コードを発報している等の異常が発生した場合は、販売会社までご連絡ください。

点検コード (BExxx、BFxxx) が表示されたとき

点検コード「BExxx」、「BFxxx」(xxxには3桁の数字が入ります)は蓄電システムが何らかの原因で一時的に停止、または停止中をお知らせする点検コードです。

上記「BExxx」、「BFxxx」の点検コードが表示されたときは、下表に従って処置してください。お買い上げの販売会社または弊社専用ダイヤルにご連絡いただく際は、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードを合わせてご連絡ください。

■例：点検コードの画面



- [消音] をタッチすると、ブザー音が止まります。
- [再起動] をタッチすると、蓄電システムを再起動します。
- [非表示] をタッチすると、30 秒間点検コードを非表示にします。

📌 メモ

- 点検コードが出た状態で放置しないでください。過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。
- ESS-U4M1 の場合は、「機種名：ESS-U4M1」と表示されます。

点検コードの内容と処置

点検コード	処置
充放電時刻重複 充放電時刻が重複または開始時刻と終了時刻が重複しているため、設定できません。	時間帯の重複がないように再設定してください。(23 ページ)
点検コード BExxx 蓄電システムが安全のため、自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、再起動にタッチして蓄電システムを再起動してください。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード BE202 もしくは BE203 消費電力オーバー 電気製品等の消費電力が規定電力を超えたため、給電を停止しました。 接続機器を減らした後、再起動を押して蓄電システムを再起動してください。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーターなど、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
点検コード BE204 蓄電システムが安全のため自動停止しました。 下のボタンで再起動してください。 自動停止を繰り返す場合は、太陽光パワコンを停止させ、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード BFxxx 蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード BF517 日時設定をお願いします。 停電のため日時の設定がクリアされました。 非表示を押してメッセージを閉じ、日時の再設定をしてください。	メッセージに従い、日時設定を行ってください。(48 ページ)
点検コード BF550 蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。	自動停止を繰り返す場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検コード「BF405」について

本体内の温度センサが-20℃未満または+60℃以上を検知すると、室内リモコンに下記メッセージを表示します。-15℃以上または+55℃未満になると自動的に復帰するため、エラー解除の操作は必要ありません。

メッセージ

「点検コード BF405 蓄電システムが自動停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。」

点検コード「BF404」について

点検コード「BF404」は、蓄電池残量が0%よりさらに低下した場合にお知らせします。

通常時に発報した場合

室内リモコン画面の「非表示」をタッチして、メッセージを閉じます。

「経済モード」、「グリーンモード」、「深夜電力活用」および「ピークカット」が設定されている場合は、充電時間帯に自動で充電を行います。

メモ

グリーンモードで運転中に発報した場合は、以下のように対応してください。

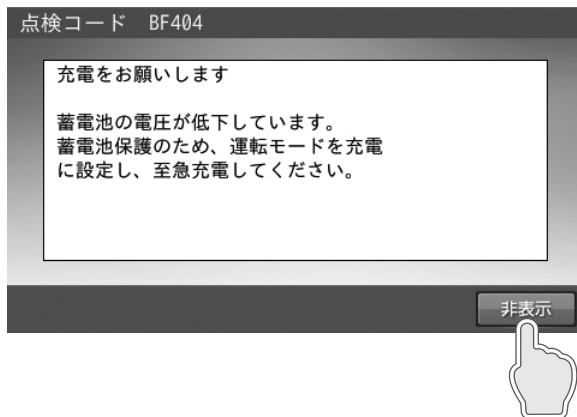
押し上げ「無」の場合：充電時間が不足している場合があります。

充電時間帯を長めに設定するなどして、充電が十分確保できるようにしてください。

充電時間の設定は「充放電時刻を設定する」(23 ページ)を参照してください。

押し上げ「有」の場合：外付け太陽光発電の余剰充電が不足している場合があります。

運転モードを「充電」に設定し、充電が十分確保できるようにしてください。

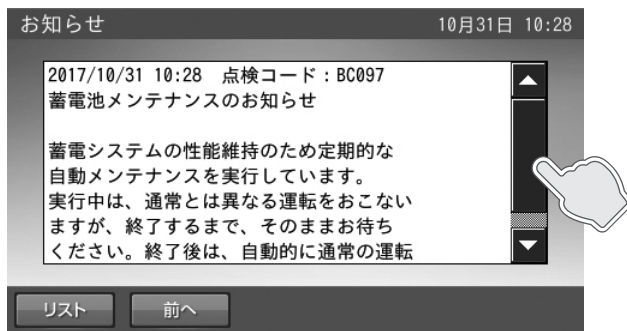


停電時に発報した場合

「停電時に蓄電池残量がゼロになってしまった場合」(50 ページ)に従ってください。

点検コード (BCxxx) が表示されたとき

■例：お知らせの画面



お知らせの内容の文字数が多い場合は、画面右側に▼／▲とその間に■が表示されます。

▼／▲にタッチすると、表示内容を上下に移動させることができます。

また、■にタッチしながら上下に移動させると、すばやく表示内容を上下に移動させることができます。

メモ

お知らせ以外でも画面右側に▼／▲と■が表示された場合は、同じ操作方法になります。

お知らせのメッセージ内容は、点検コード以外に以下の内容があります。

お知らせリモコンメッセージと内容

お知らせ リモコンメッセージ	内容
点検コード BC096 運転停止中 運転が停止されました。	蓄電システムが停止となった場合に記録されます。
点検コード BC097 蓄電池メンテナンスのお知らせ 蓄電システムの性能維持のため、定期的な自動メンテナンスを実行しています。 実行中は、通常とは異なる運転を行います。終了するまでそのままお待ちください。 終了後は、自動的に通常の運転モードに戻ります。	自動メンテナンス実行時に記録されます。メンテナンスモードについては 60 ページを参照してください。
点検コード BC417 蓄電システム点検 蓄電システムの点検が必要です。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へお早めにご連絡ください。	蓄電池の充電可能容量が 50% を下回った場合に記録されます。 そのままご利用可能ですが、保証書記載内容を満たしている場合は、無償交換を行います。お買い上げの販売会社にご連絡ください。
点検コード BC551 もしくは BC562 ネットワーク通信に障害が発生しております。 ネットワーク配線、ルータ設定などをご確認ください。 この点検メッセージが続く場合は、取扱説明書の説明に従って本リモコンをリセットしてください。	ネットワーク通信に障害がある場合に記録されます。 ネットワーク配線、ルータ設定、室内リモコンのネットワーク設定を確認してください。
点検コード BC554 リモコンのソフトウェアを更新しました。	インターネット経由で室内リモコンのソフトウェアが更新された場合に記録されます。 そのままご利用ください。
点検コード BC094 パワーコンディショナのソフトウェアを更新しました。	インターネット経由でパワーコンディショナのソフトウェアが更新された場合に記録されます。そのままご利用ください。
点検コード BC556 リモコンをシャットダウンしました。	室内リモコンの電源スイッチを「OFF」に設定した場合に記録されます。
点検コード BE000 お知らせが解除されました。	お知らせが必要な状態から、お知らせの必要が無い状態に移行した場合に記録されます。

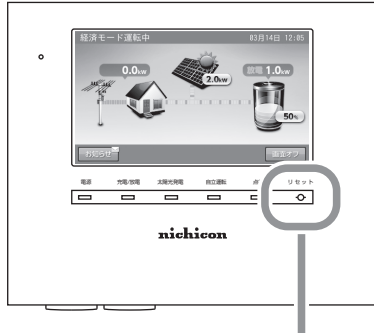
室内リモコンが動かなくなった時

室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。
室内リモコンが動かなくなったときにのみ、以下の手順に従ってください。

1 電源スイッチを OFF にする

メモ

- 数秒で室内リモコンが OFF 状態になった場合は、「リセット」ボタンを押す必要はありません。
- 電源が OFF にならなかった場合は、電源スイッチを OFF にしたままの状態ですぐペン先などで「リセット」ボタンを押してください。



ペン先などでリセットボタンを押す

2 リセット後、電源スイッチを ON にする

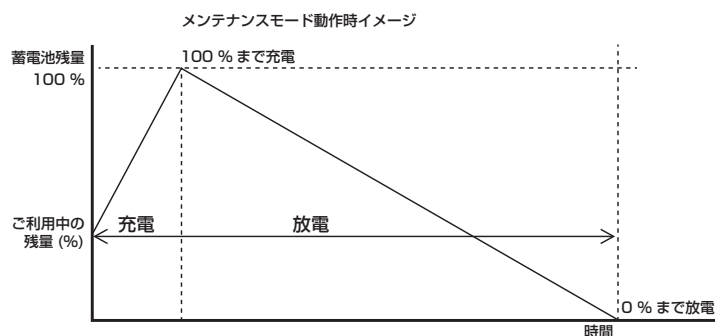
メモ

- 電源スイッチが OFF のとき、蓄電システムは運転を停止します。
- 電源スイッチは、長期間 OFF にしないでください。(52 ページ)
- 室内リモコンの電源スイッチが「ON」の状態ですぐ「リセット」ボタンを押しても、室内リモコンのリセットは行いません。

蓄電池のメンテナンスモードについて

メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。

「充放電時刻を設定する」(23 ページ) で設定されている充電時間帯に蓄電池残量 100% まで充電を行い、その後、時間帯に関係なく、設定している自動運転モードで蓄電池残量 0% まで放電を行います。放電後、メンテナンスモードは完了し、自動運転モードに戻ります。



メモ

- 蓄電池性能維持のため、メンテナンスモード中は、手動充電、放電にしないでください。
- メンテナンスモード動作中も普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。
- 11回連続してメンテナンスモードが停止すると、9月に再実行します。
- メンテナンスモード実行中は、お客様の意図しない動作をすることがあります。

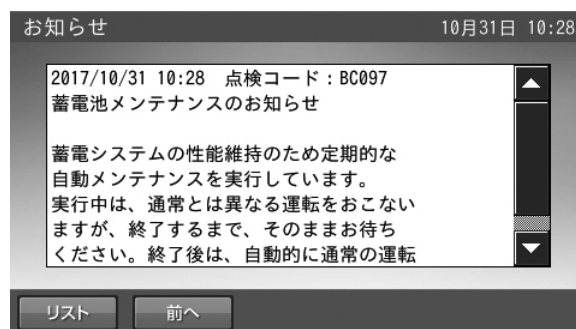
蓄電システムの性能維持のために、年1回(6月)自動でメンテナンスモードを実行します。

メンテナンスモード実行時に「お知らせ」をタッチすると、室内リモコンに内容が表示されます

■例：メンテナンスモード運転中のホーム画面



■例：お知らせの画面



メンテナンスモード実施日

- メンテナンスモードは6月15日～30日の期間内で実施されますが、製造番号により実行日が異なります。実行日は下記方法で算出することができます。

算出方法：製造番号の数字部分下2桁 ÷ 16の余りに+15

(算出例)

- ・ JD-100002WCR (製造番号) : $02 \div 16 = 0$ 余り 2 $\Rightarrow 2+15=17 \Rightarrow$ 6月17日に実行
- ・ JD-100052WCR (製造番号) : $52 \div 16 = 3$ 余り 4 $\Rightarrow 4+15=19 \Rightarrow$ 6月19日に実行

- 9月に再実行となった場合は、9月1日～16日の期間内で実施され、実施日は下記方法で算出することができます。

算出方法：製造番号の数字部分下2桁 ÷ 16の余りに+1

(算出例)

- ・ JD-100004WCR (製造番号) : $04 \div 16 = 0$ 余り 4 $\Rightarrow 4+1=5 \Rightarrow$ 9月5日に実行
- ・ JD-100038WCR (製造番号) : $38 \div 16 = 2$ 余り 6 $\Rightarrow 6+1=7 \Rightarrow$ 9月7日に実行

メモ

製造番号については、「登録情報を確認・変更する」(35 ページ) を参照してください。

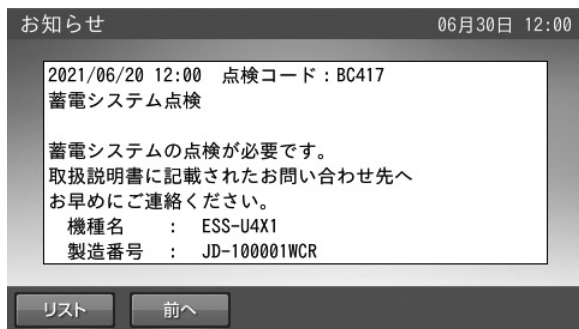
メンテナンスモード停止条件

- 運転モードを手動の「充電」または「放電」に変更した場合
- 点検コード発報した場合（BExxx または BFxxx）
- 停電が発生した場合
- 蓄電池温度が 10 °C 未満、または 60 °C 以上の場合

メモ

メンテナンスモードが連続して停止されると、正常に動作しなくなる場合があります。

<蓄電池容量低下メッセージ：蓄電池容量が 50 % を下回ったことをお知らせします>



保証期間中に、「お知らせ」をタッチして、左図のメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

メモ

- ご家庭の消費電力が少ない場合は、メンテナンスモードが終了するまで数日かかることがあります。
- メンテナンスモード完了のためには、家庭内で最低 100 W 以上の電力消費が必要です。
- ESS-U4M1 の場合は、「機種名：ESS-U4M1」と表示されます。

ソフトウェアの更新

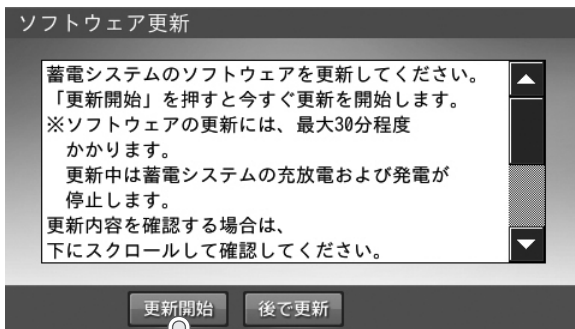
ソフトウェアの更新方法

ソフトウェアの更新が必要な場合は、ソフトウェア更新画面を表示します。画面の指示に従って操作し、必ず更新してください。

メモ

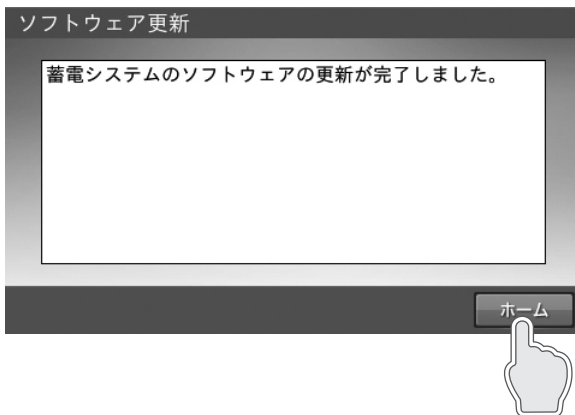
更新中は、本システムの充放電を停止します。

1 「更新開始」をタッチする



※更新内容によっては、本画面を表示せず自動的に更新が始まる場合があります。

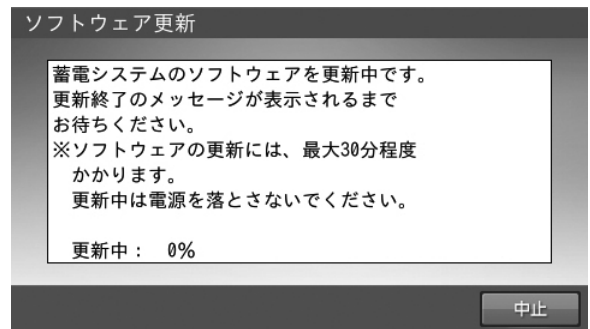
3 「ホーム」をタッチする



ホーム画面に戻ります。

※更新内容によっては、本画面を表示しない場合があります。

2 更新中の画面が表示される



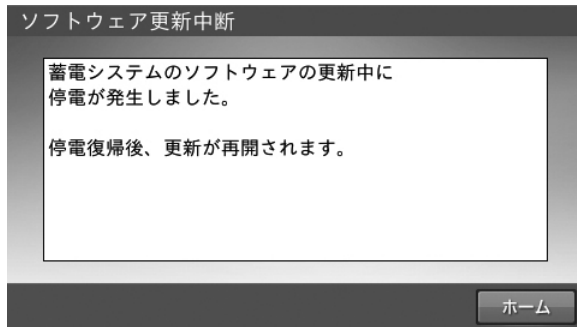
そのままお待ちください。

メモ

- 更新作業終了後、自動的に室内リモコンが再起動します。
- 再起動しても、運転モードや充放電開始時刻などの設定項目は再起動前の状態を維持しますので、再設定の必要はありません。

更新中に停電した場合

1 ソフトウェア更新中断画面が表示される

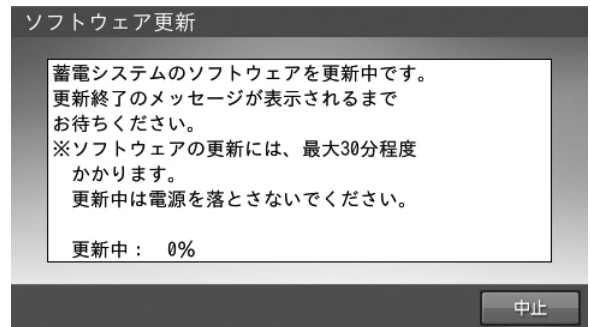


メモ

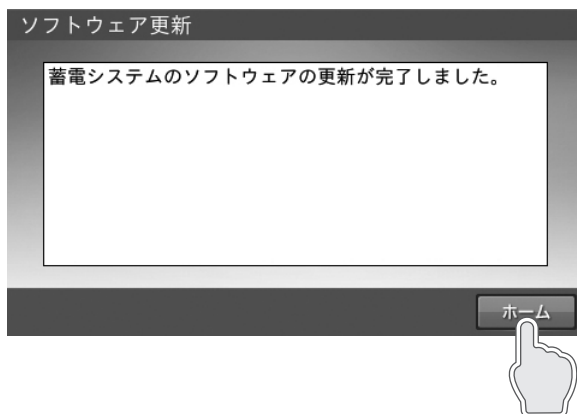
ソフトウェア更新には蓄電ユニット（パワーコンディショナ）用のソフトウェアの更新と、室内リモコン用のソフトウェアの更新があります。

室内リモコン更新の場合は、更新中に停電してもソフトウェア更新中断画面は表示されません。

2 停電復電後、しばらくしてソフトウェア更新画面が表示され自動的に更新作業を再開する



3 [ホーム] をタッチする



ホーム画面に戻ります。

保証とアフターサービス

保証について

保証については、保証書の内容をよくお読みください。

弊社または販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。

注：上記の記載がない場合には無効となることがあります。

アフターサービスについて

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、販売会社にお問い合わせください。販売元専用ダイヤルがご利用いただけない場合は、下記のニチコンサービスセンターまたはお客様窓口にご連絡ください。

修理を依頼される時

修理を依頼される場合は、次のことをお知らせください。

- お買い上げ時期
- 装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

補修用性能部品の最低保有期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後、本体 10 年、室内リモコン 5 年です。

移設などで機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください

お客様ご自身では移設を行わないでください。

故障した場合の連絡先	ニチコン株式会社サービスセンター 電話 : 03-5212-9211 ファックス : 03-5211-2153 平日 : 9時～20時 土・日・祝日・休業日 : 9時～18時
製品の使用方法などに関するお問い合わせ先	ニチコン株式会社お客様窓口 電話 : 0120-215-086 メール : info-ess@nichicon.com 平日 : 9時～17時 土・日・祝日・休業日は除く

補助金に関するご注意

購入時に補助金の交付を受けた方

設置時から一定期間の使用が義務付けられています

補助金の支給を受けて本製品を購入した場合は、設置時から一定期間本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

停電時の接続事例

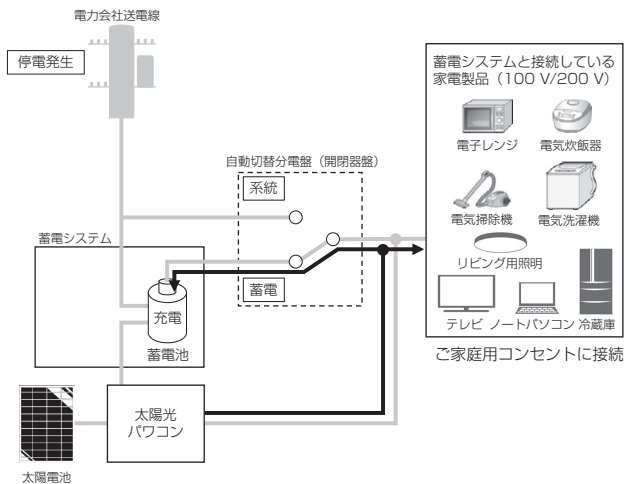
■ 自動給電切換の動作

自動給電切換は蓄電システムと接続している家電製品の使用電力と太陽電池の発電電力を判断しながら、自動的に切り替えます。

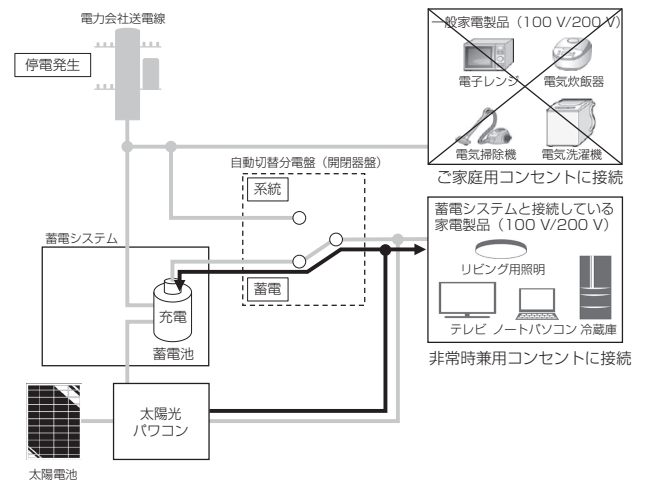
① 蓄電システムと接続している家電製品の使用電力 < 太陽電池の発電電力

蓄電システムと接続している家電製品の使用電力は経路に接続されている太陽光パワコンから供給され、余剰分は蓄電池に充電します。(蓄電池残量が90%以上の場合は、充電しません。)

全負荷対応型で接続した場合



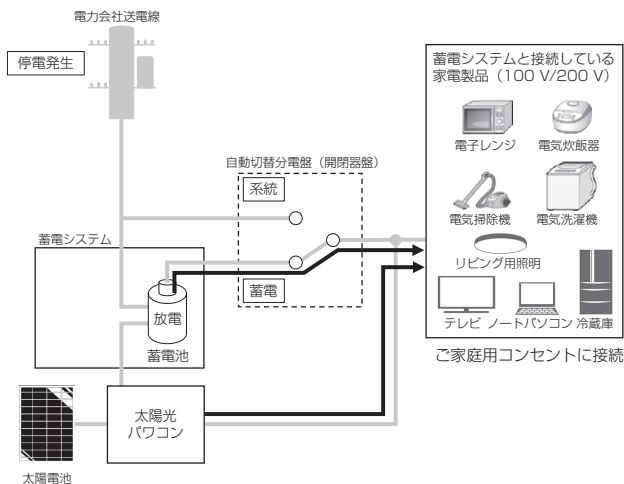
重要負荷対応型で接続した場合



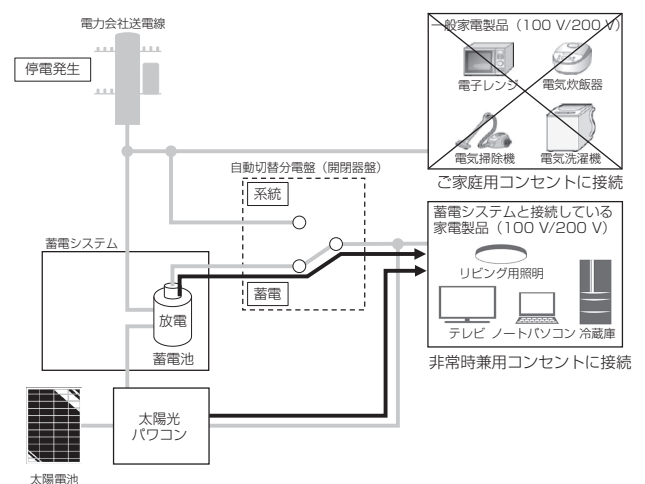
② 蓄電システムと接続している家電製品の使用電力 > 太陽電池の発電電力

蓄電システムと接続している家電製品の使用電力は経路に接続されている太陽光パワコンから供給され、不足分は蓄電池から供給します。(蓄電池残量がゼロの場合は、電力を供給しません。)

全負荷対応型で接続した場合



重要負荷対応型で接続した場合



保証とアフターサービスへ補助金に関するご注意／停電時の接続事例

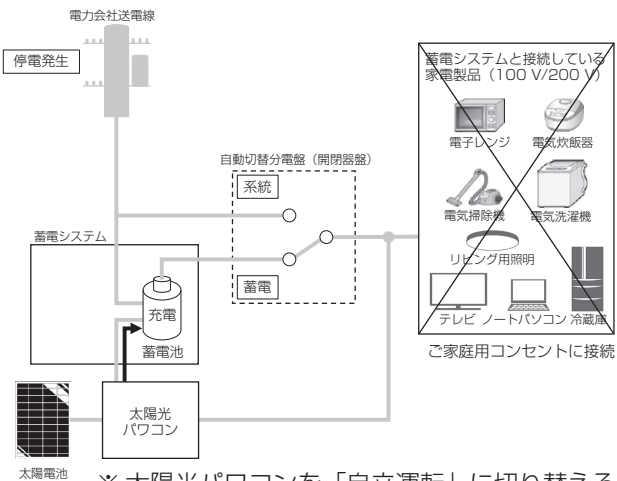
次ページへ続く

■ 蓄電池に充電したい場合

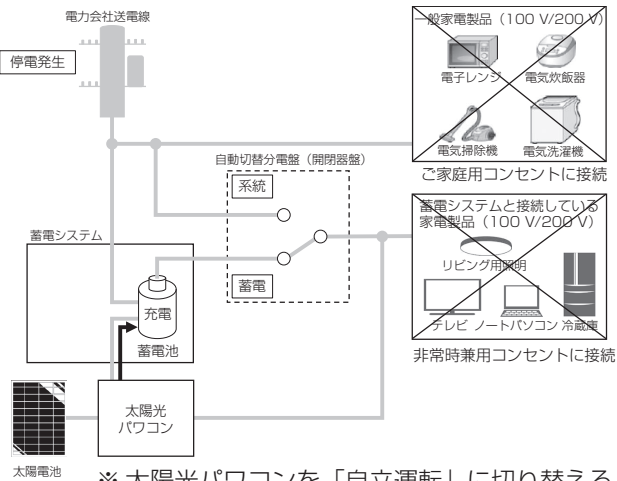
蓄電システムからの給電を停止し、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えることで、蓄電池へ充電します。(家電製品へは給電しません。)

- ※ 自動給電切替時、給電中に蓄電池残量がゼロになった場合は、自動で給電を停止します。手で給電を停止させる場合は、ホーム画面の「給電停止」ボタンをタッチして給電を停止してください。
- ※ 太陽光パワコンの取扱説明書に従って、「自立運転」に切り替えてください。

全負荷対応型で接続した場合



重要負荷対応型で接続した場合



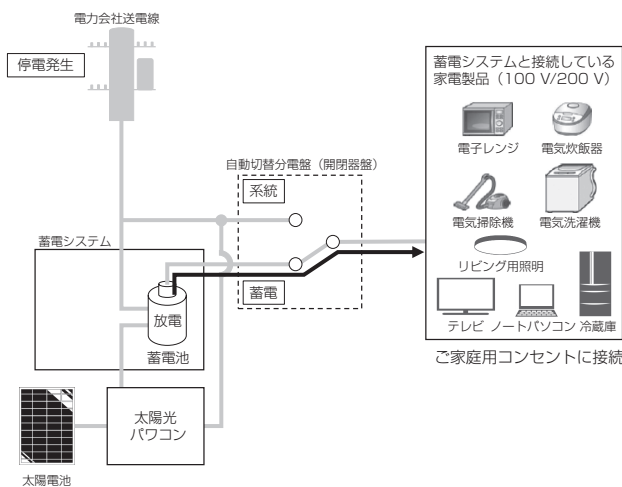
■ 停電時に外付け太陽光発電を連系運転しない設置邸の場合

停電時に外付け太陽光発電を連系運転しないタイプでご使用の方が本事例に該当します。

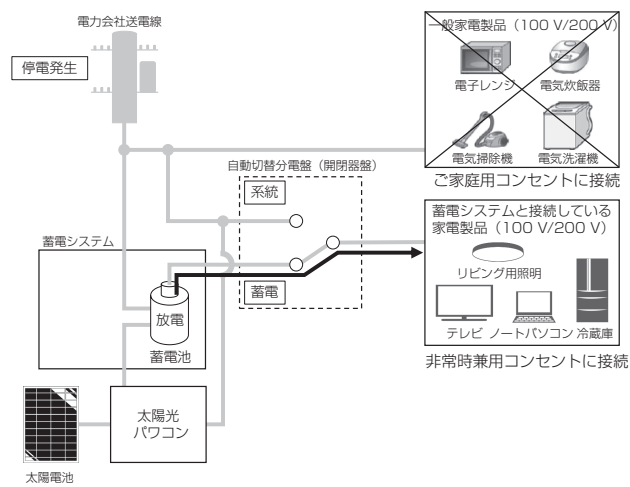
① 蓄電システムと接続している家電製品への電力供給

ホーム画面の「給電開始 / 給電停止」ボタンをタッチして給電を開始させ、蓄電システムと接続している家電製品へ電力を供給してください。電力供給は蓄電池からのみとなります。(蓄電池残量がゼロの場合は、電力を供給しません。)

全負荷対応型で接続した場合



重要負荷対応型で接続した場合



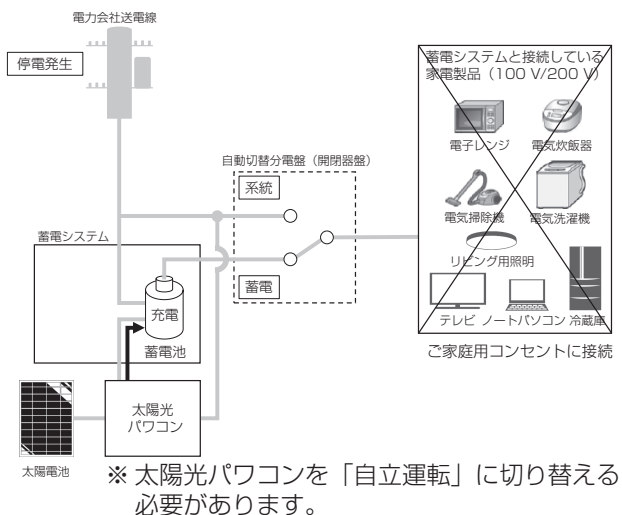
② 蓄電池に充電したい場合

蓄電システムからの給電を停止し、太陽光パワコンを「自立運転」に切り替えることで、蓄電池へ充電します。(家電製品へは給電しません。)

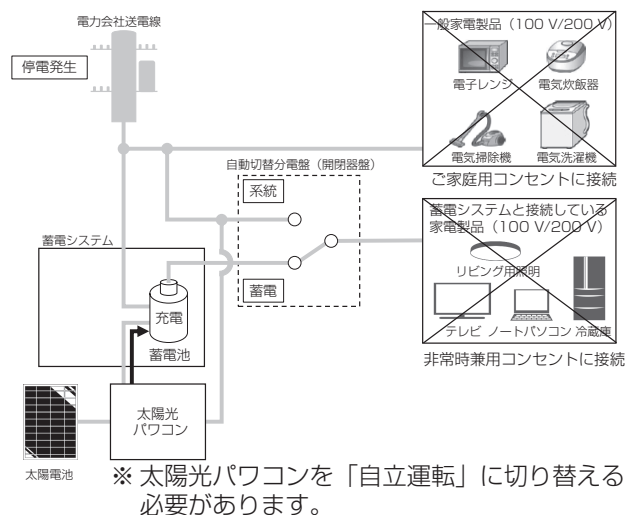
※ 自動給電切換時、給電中に蓄電池残量がゼロになった場合は、自動で給電を停止します。手動で給電を停止させる場合は、ホーム画面の「給電停止」ボタンをタッチして給電を停止してください。

※ 太陽光パワコンの取扱説明書に従って、「自立運転」に切り替えてください。

全負荷対応型で接続した場合



重要負荷対応型で接続した場合



停電時の接続事例

仕様

蓄電システム

型番	蓄電システム	ESS-U4X1	ESS-U4M1
		室内リモコン	ESS-R5
外形寸法	蓄電システム	W1060 × H1250 × D300 mm	
	室内リモコン	W170 × H140 × D23.1 mm	
質量	蓄電システム	236 kg	190 kg
	室内リモコン	320 g	
蓄電池	種類	リチウムイオン蓄電池	
	定格容量 (※ 1)	16.6 kWh	11.1 kWh
	初期実効容量 (※ 2)	14.4 kWh (JEM1511 による)	9.4 kWh (JEM1511 による)
	定格電圧	DC 176.6 V	DC 117.76 V
	動作電圧範囲	DC 148.8 V ~ 199.2 V	DC 99.2 V ~ 132.8 V
	電池構成	1 モジュールあたり 8 直列 1 並列、 全 6 モジュール直列構成	1 モジュールあたり 8 直列 1 並列、 全 4 モジュール直列構成
	最大充電電力	3.0 kW	
系統連系出力	電気方式	単相 2 線式 (ただし、接続は単相 3 線式)	
	定格出力	3.0 kW ± 5%	
	定格出力電圧	AC 202 V	
	出力電圧範囲	AC 202 V ± 20 V	
	定格周波数	50 Hz または 60 Hz	
	基本波力率	0.95 以上 (定格出力時)	
	電流歪率	総合電流歪率 5% 各次電流歪率 3% 以下 (定格出力時)	
自立出力	電気方式	単相 3 線式	
	定格出力 (※ 3)	片相 1.5 kVA、合計 3.0 kVA	
	定格出力電圧	AC 101 V ± 6 V / AC 202 V ± 12 V	
	最大出力電流	最大 15 A	
	定格周波数	50 Hz または 60 Hz	
インバータ	連系運転時	自励式電圧型電流制御方式	
	自立運転時	自励式電圧型電圧制御方式	
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式	
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式		
冷却方式	強制空冷方式		
不要輻射	VCCI クラス B 準拠		
電力変換効率	94.5%+2%/-1.5%	93%+2%/-1.5%	
運転時騒音レベル	40 dB 以下		
消費電力	25 W 以下		

※ 1) 蓄電池容量は単電池 (セル) の容量合計を示します。

※ 2) 使用開始時に実際に使用出来る充放電量は、充電深度と電力変換効率をかけた値となり、環境温度や使用電力によって増減します。蓄電池は経年劣化により容量が徐々に減少します。この劣化スピードは充放電の頻度・使用環境 (温度等) により異なります。

※ 3) 蓄電システム ESS-U4M1 では、温度が高い時は保護機能により蓄電システムの出力を一時的に抑制することがあります。

自動切替分電盤（開閉器盤）

設置場所	屋内
電気方式・定格電圧	単相3線式 (1φ3W)・AC 100V / 200V
寸法・質量	W 608 x H 325 x D 124 mm 7.8 kg

※ 停電 / 復電時に自動切替分電盤（開閉器盤）から切り替え音がします。

ソフトウェアライセンスについて

Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社コビキタスが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。

オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておりましたが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。

GPL/LGPL のライセンスについては、https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01 をご覧ください。

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

<https://www.nichicon.co.jp>